

関川村 四ヶ字地区 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

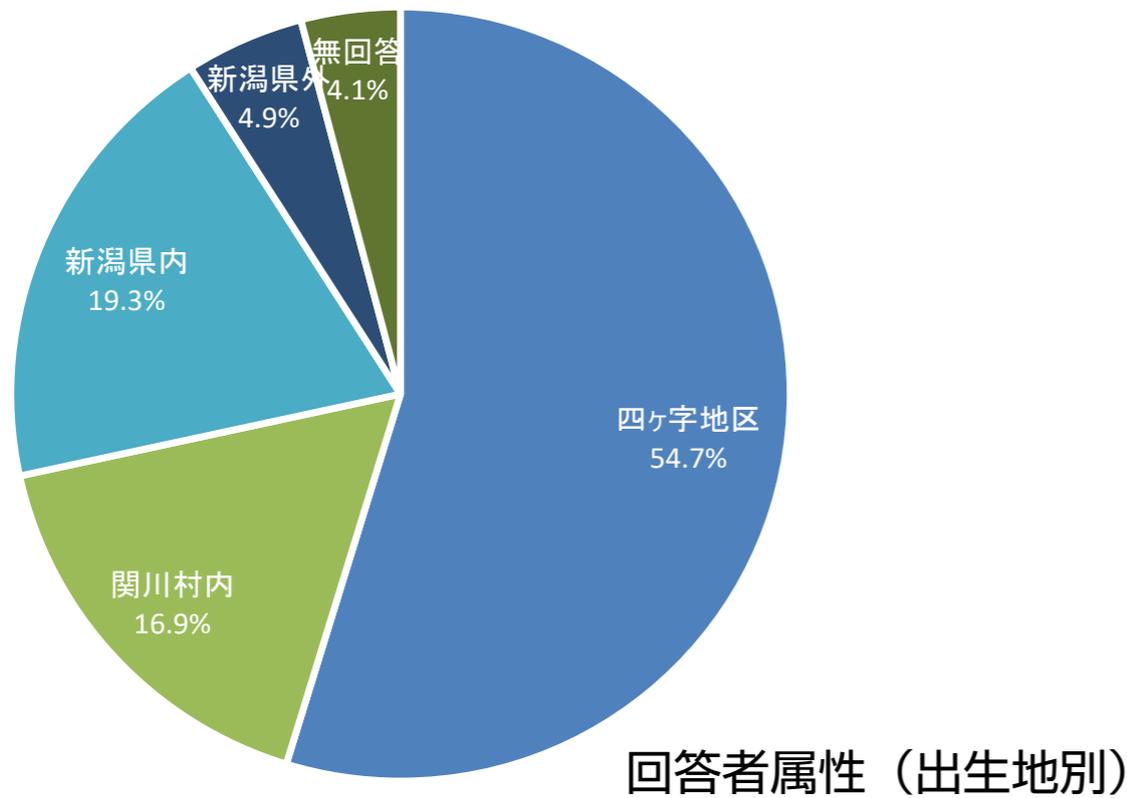
令和2年2月

NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

中学生以上の全住民アンケートの実施

回収数：243通

回収率：**75%以上**



かなりの高回収率！



地域住民の意向がしっかりと反映されているデータである

四ヶ字地区 住民アンケート

- 本アンケートは、住民一人一人の考えを把握し、世代別・男女別に日頃思っている考え・意見を整理するため、中学生以上の方に対して行っています。
- 回答は無記名でお願いいたします。
- 回答の結果は、個人を特定しない形で集計・分析し、今後の地域づくりに役立てていきます。
- アンケート用紙は、一人ひとり提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思ったことをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- (年齢) 1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上
- (性別) 男性 ・ 女性

問2 あなたの生まれたところはどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 四ヶ字地区 2. 関川村内 (四ヶ字地区を除く) 3. 新潟県内 4. 新潟県外

問3 あなたの仕事にあてはまるもの**すべてに**○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------------|-------------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 漁業 |
| 4. 自営業 | 5. 会社員 | 6. 公務員・団体職員 |
| 7. パート・アルバイト | 8. 専業主婦(夫) | 9. 中学生 |
| 10. 高校生・高専生 | 11. 大学生・短大生・専門学校生 | |
| 12. その他() | 13. 無職 | |

※学生及び仕事されている方は、以下もお答えください。

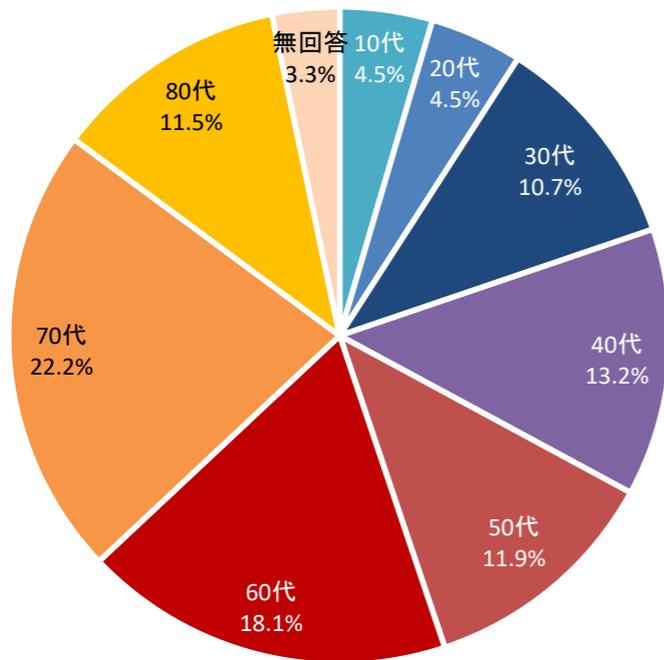
問3-2 休日はいつですか？(祝日を除く)

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 土曜(毎週)と日曜 | 2. 土曜(隔週)と日曜 | 3. 日曜のみ |
| 4. 平日 | 4. 不定期 | |

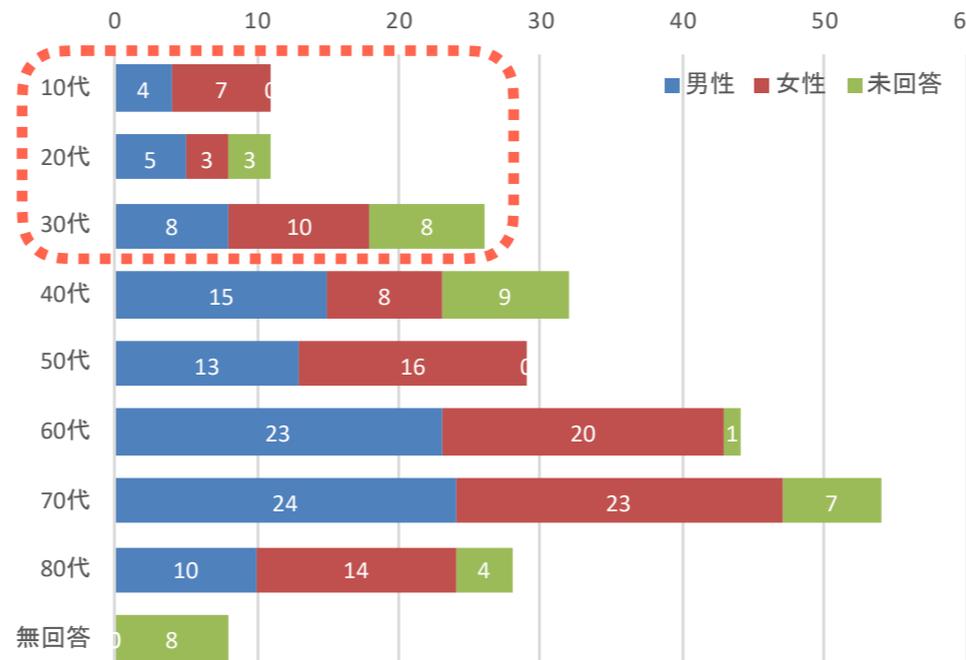
問4 農林業の作業(手伝いも含む)をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 作業をしている 2. 作業をしていない

回答者属性 (年代別)



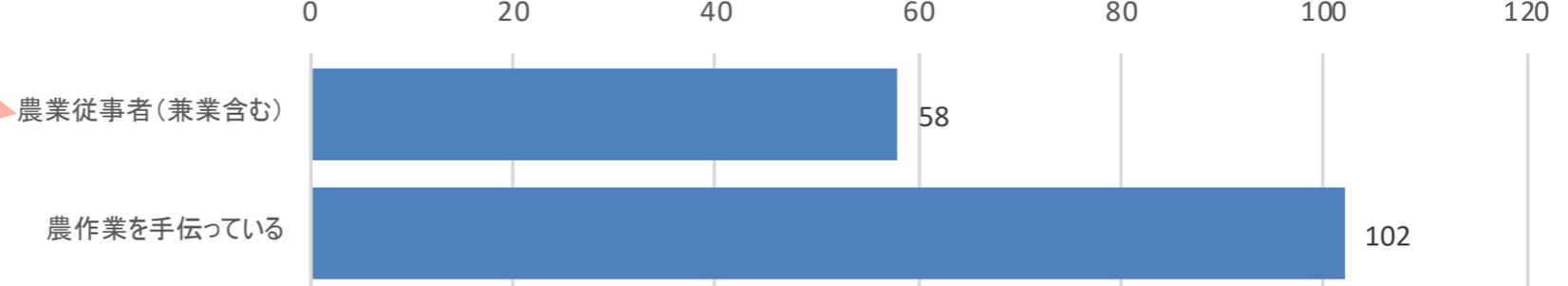
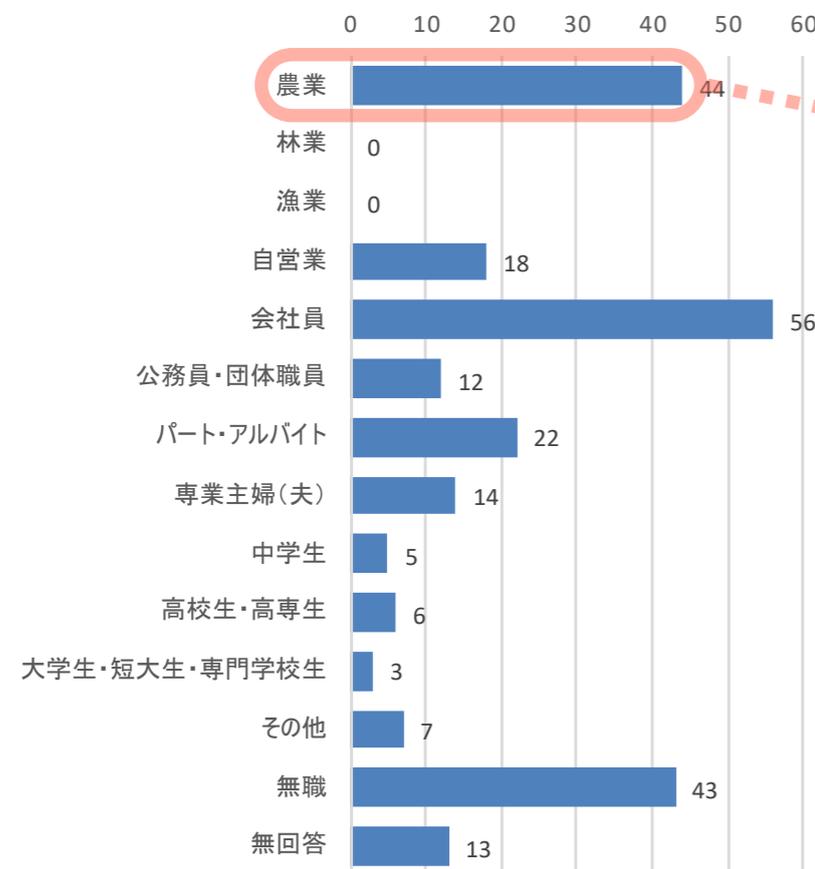
回答者属性 (年代別×男女別)



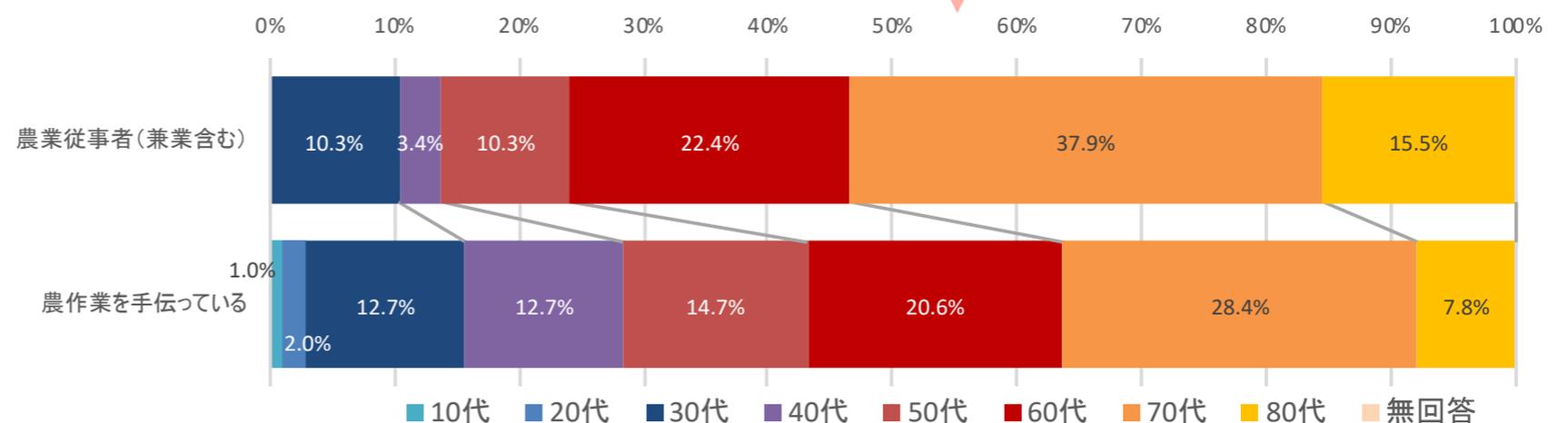
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！



農業従事者数と農作業手伝っている人数の比較

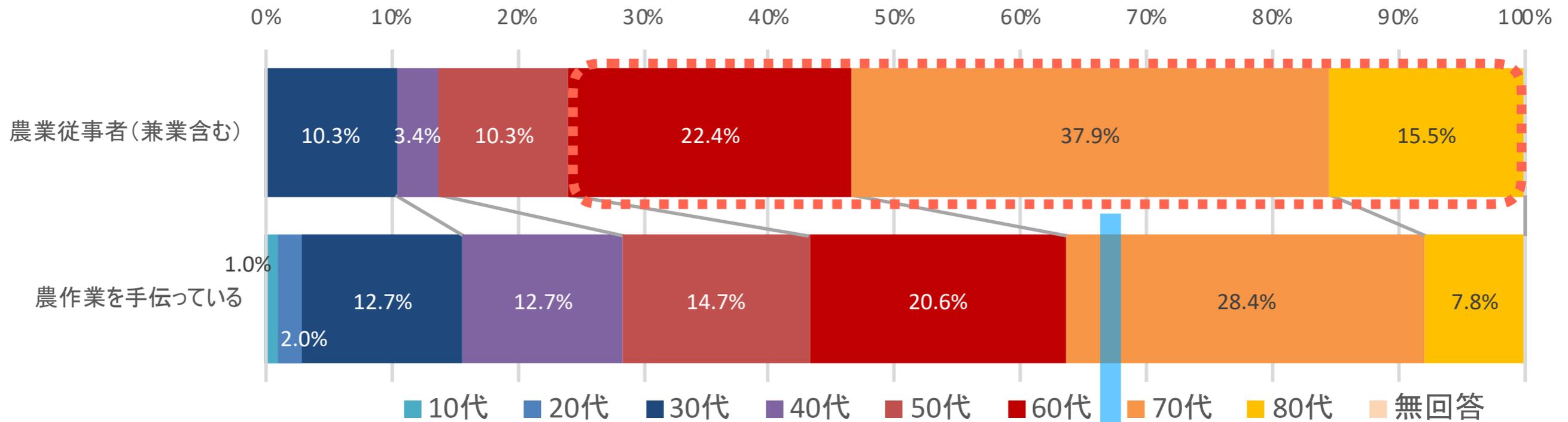


回答者属性 (職業)

農業従事者の年代構成 (割合)

農業従事者の年代構成

関川村四ヶ字地区 (2020)



農業従事者の年代構成 (人数)

年代	人数
10代	0
20代	0
30代	6
40代	2
50代	6
60代	13
70代	22
80代	9
計	58

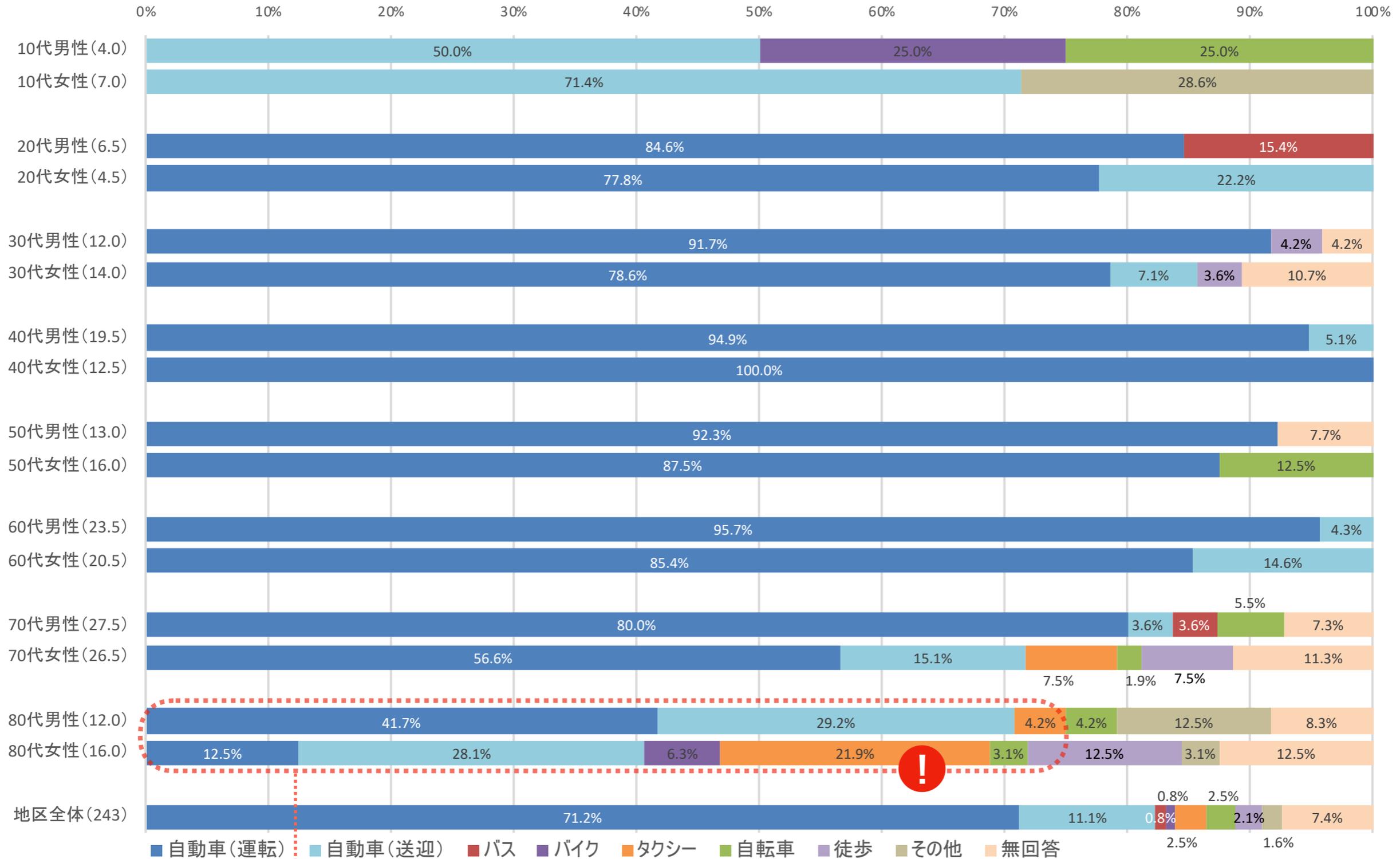
農業従事者の**75.9%**が**60代以上**

農地の維持管理はどうなりますか？

20年後は**30人程度!**?

年代別・男女別の日常的な交通手段

関川村四ヶ字地区 (2020)



将来的に送迎する側の人数が減少すると・・・
日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

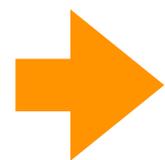
80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少



家族の送迎で高齢者の移動手段が賄われている

+

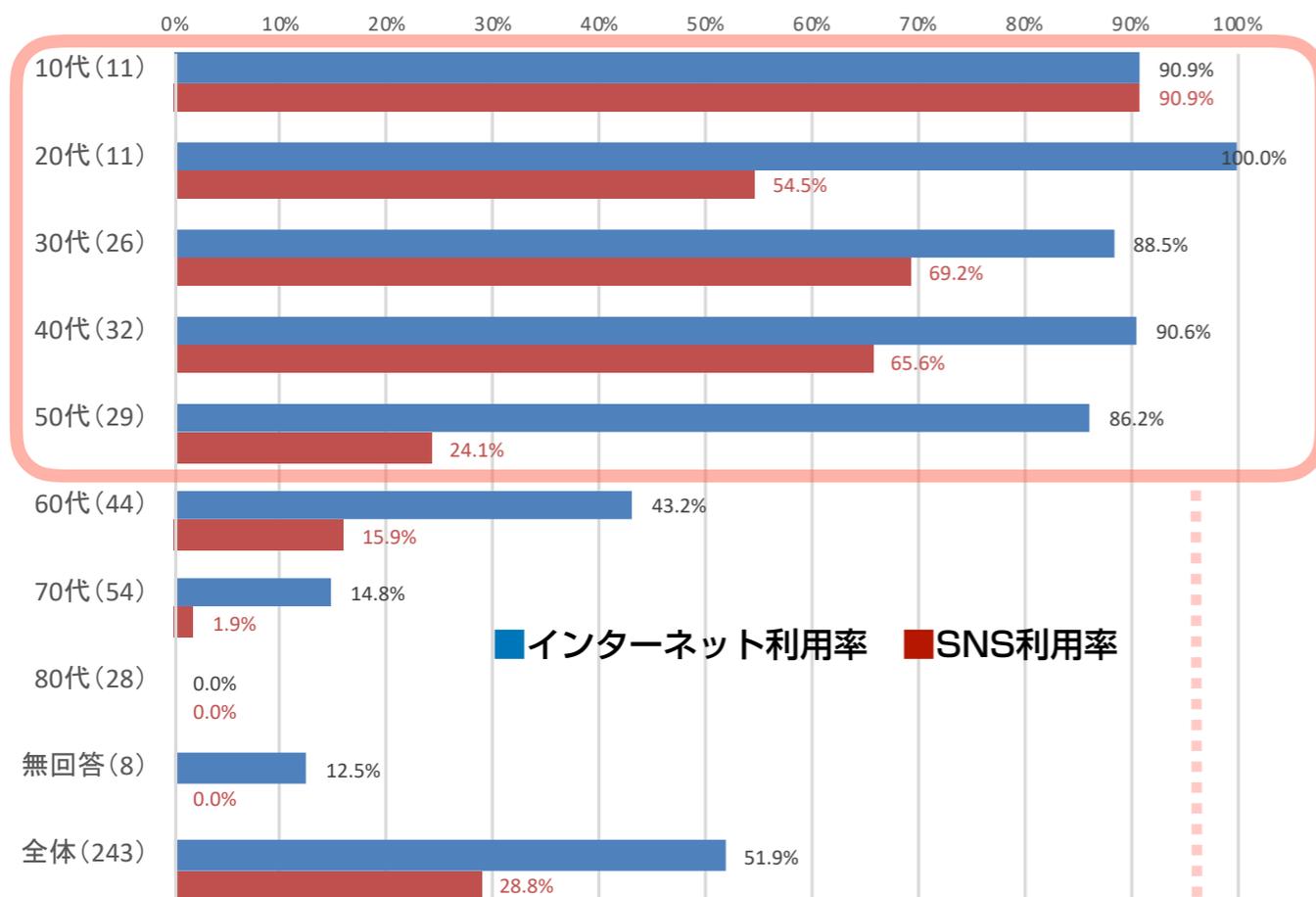
タクシー利用者急増



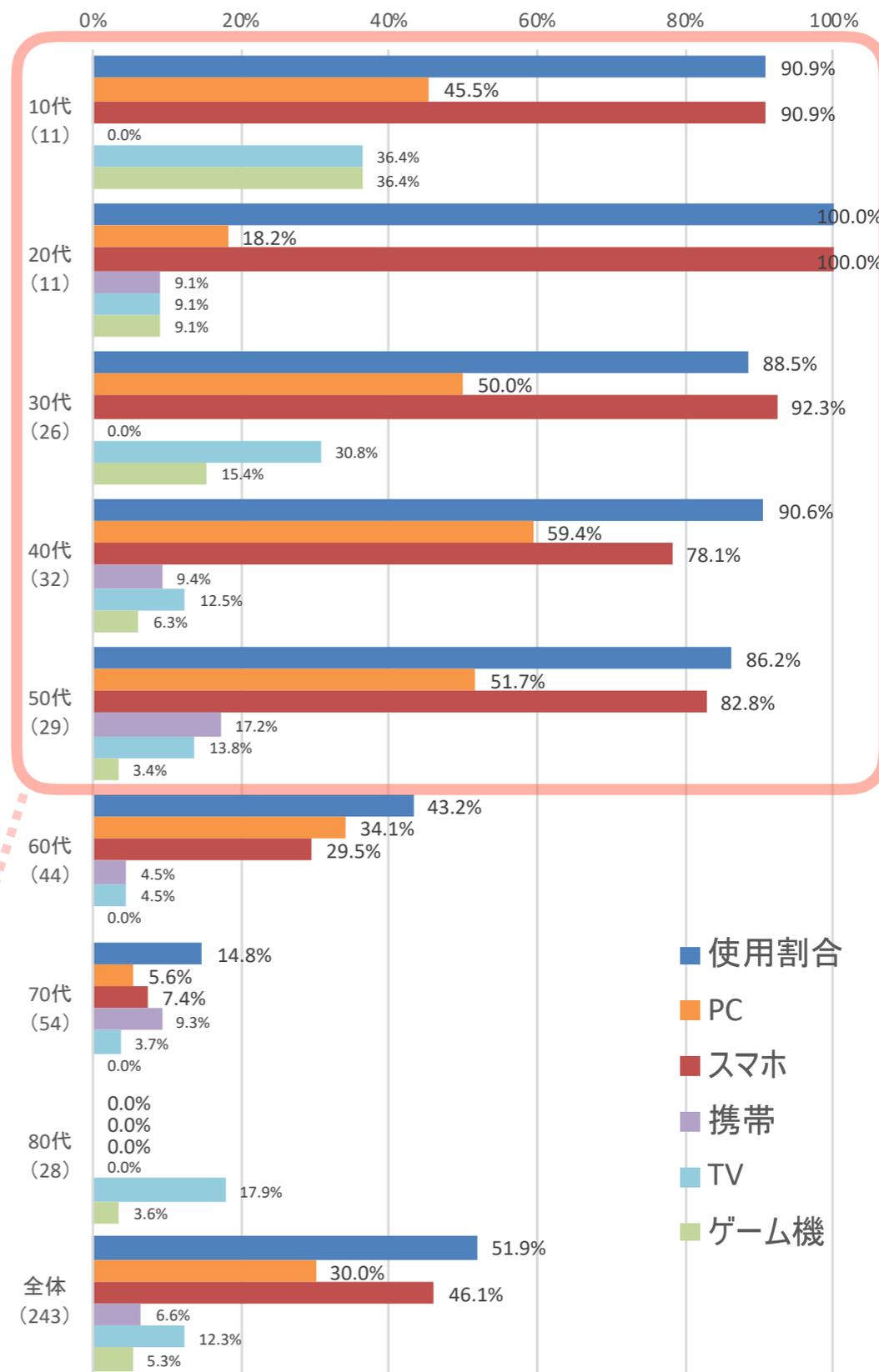
インターネットの利用割合

関川村四ヶ字地区 (2020)

年代別インターネットの利用率



年代別インターネット利用における使用機器

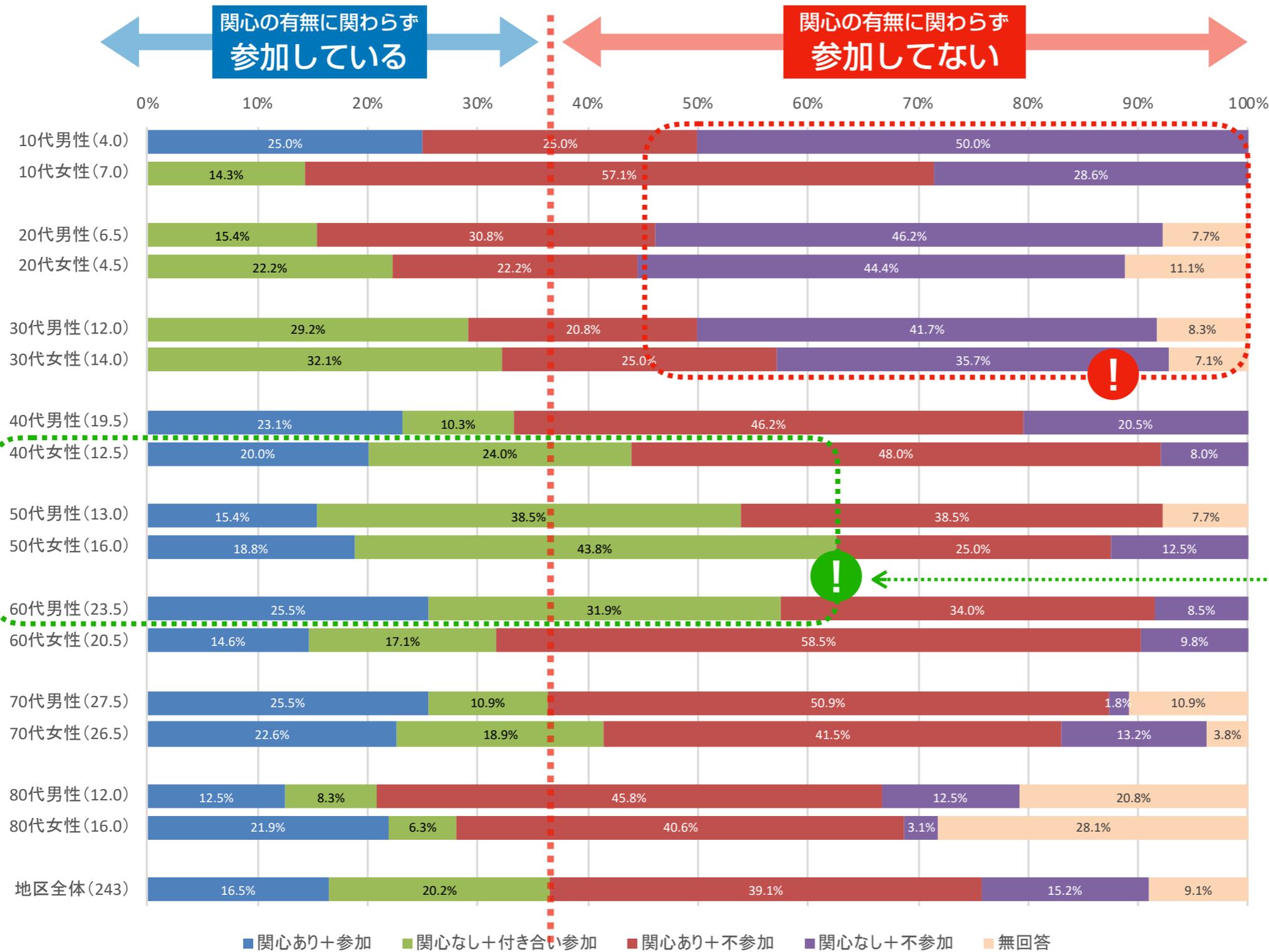


- 全体の半数がインターネットを利用。
- **40代以下は約9割**がインターネットを利用。
(50代でも8割以上)
- **大半がスマホ・携帯**で利用している。
- 40代以下は**半数以上がSNS**を利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

地域活動への関心（年齢別・男女別）

関川村四ヶ字地区（2020）



【注意！】
30代以下は
関心無し+不参加が
高割合

20～30代は
付き合いで参加

現状は
40代女性
50代男性・女性
60代男性
が特に頑張っているのだから何とか
回っている。

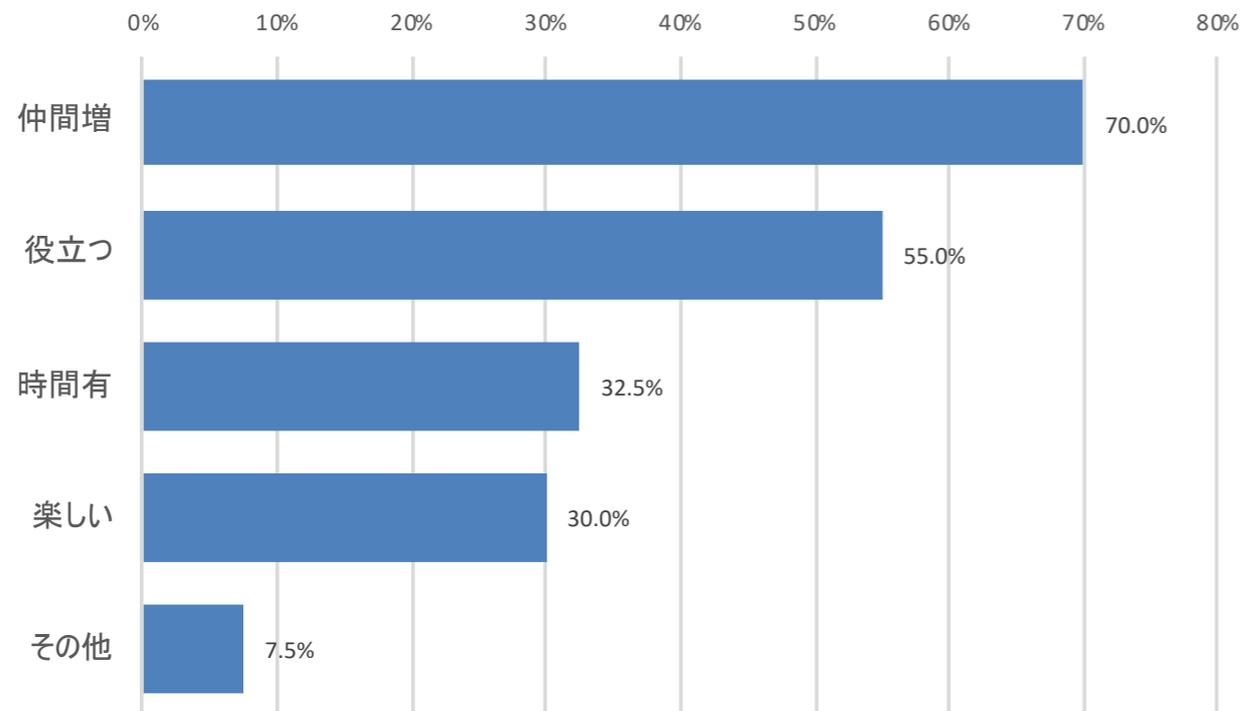
必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない。

女性は「関心があっても参加していない」割合が高い。

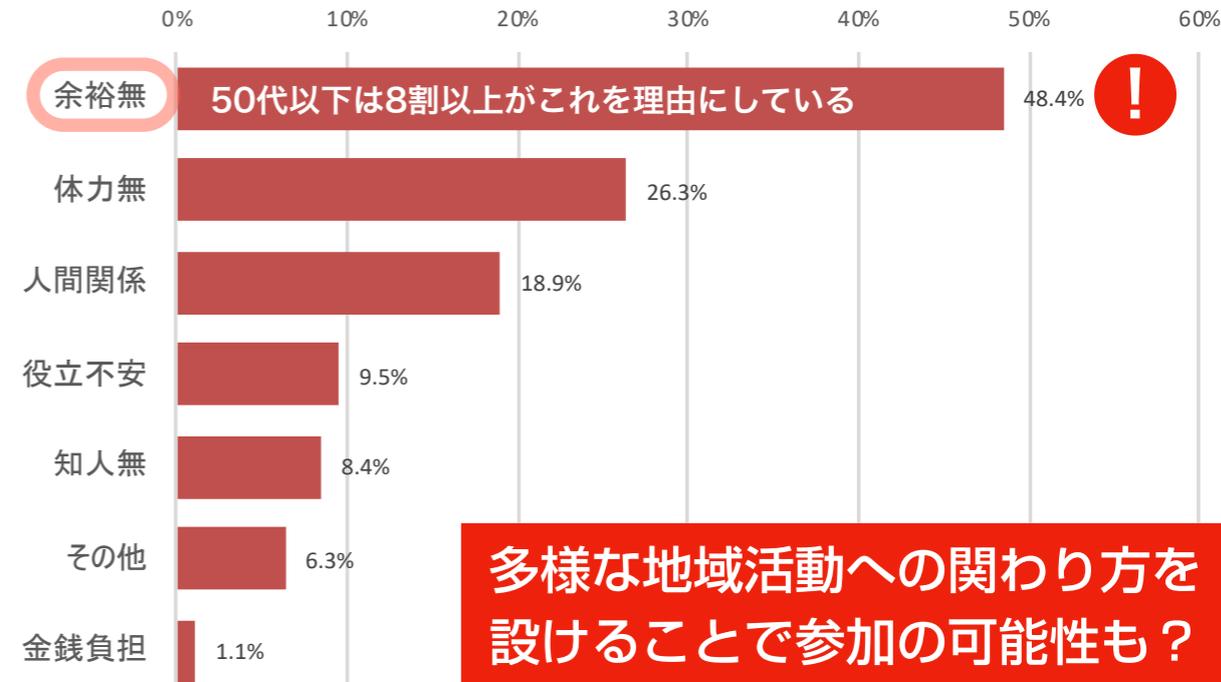
地域活動への関心（それぞれの理由）※複数回答

関川村四ヶ字地区（2020）

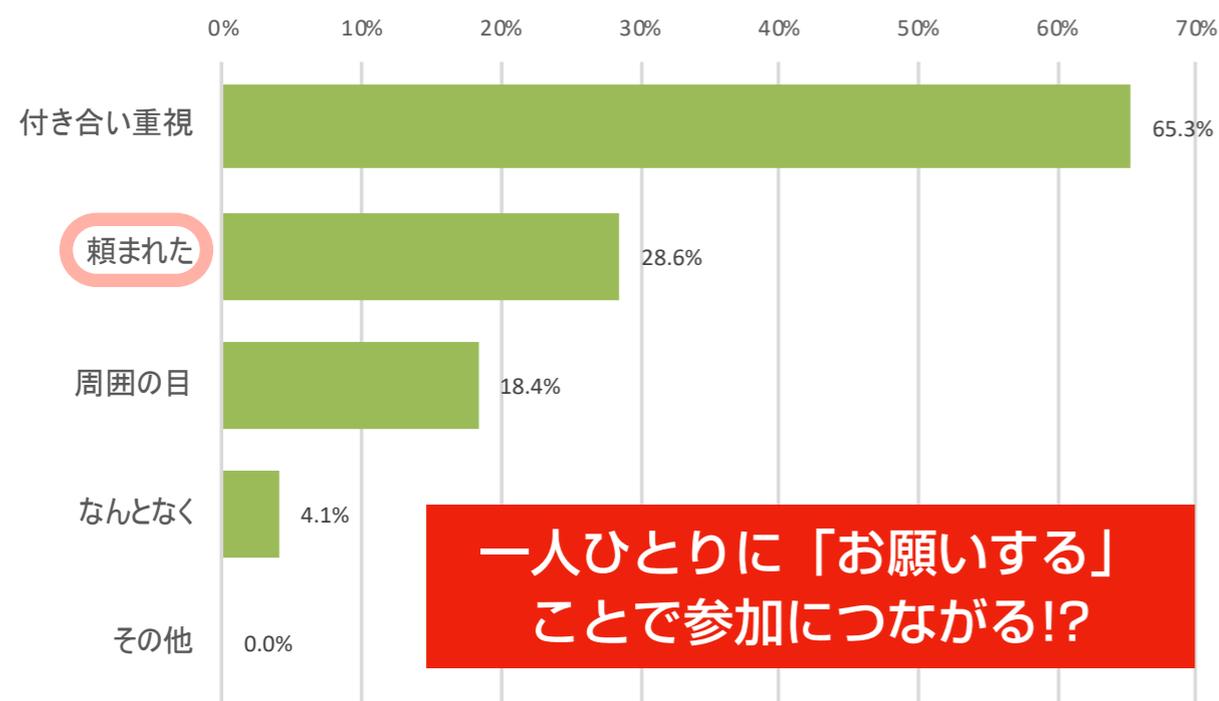
関心あり+参加の理由（回答数40）



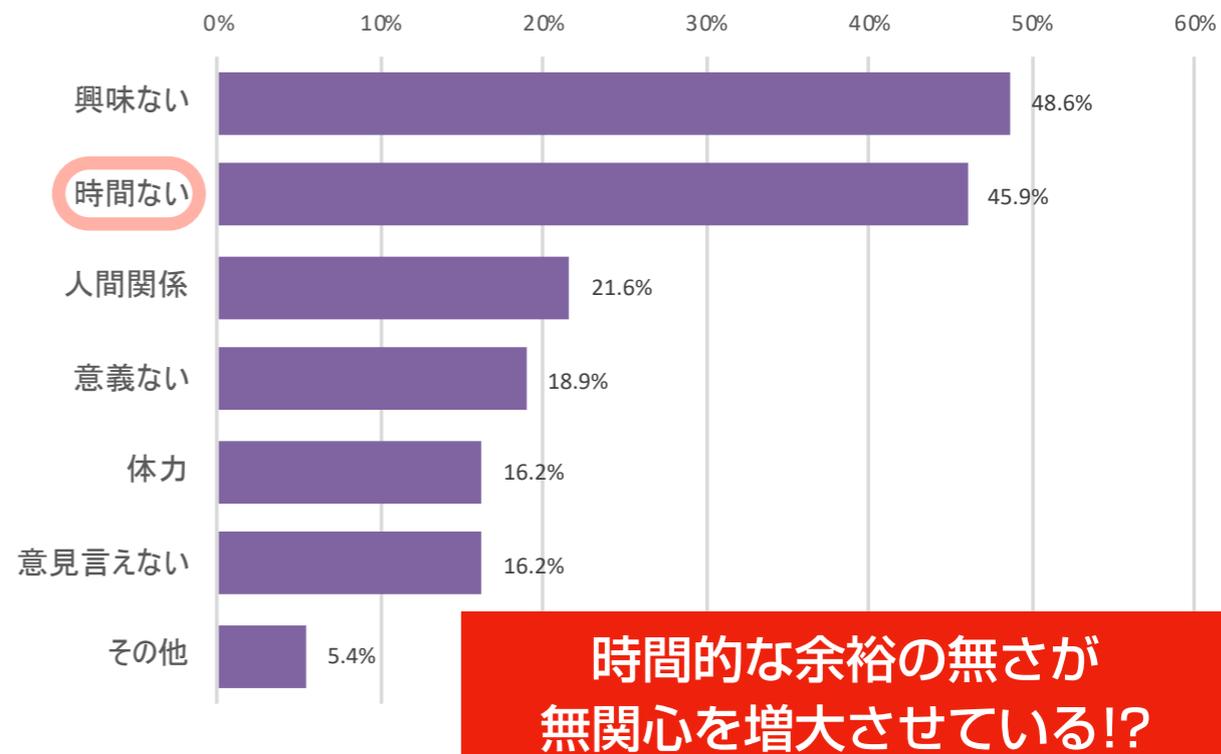
関心あり+不参加の理由（回答数95）



関心なし+付き合い参加の理由（回答数49）

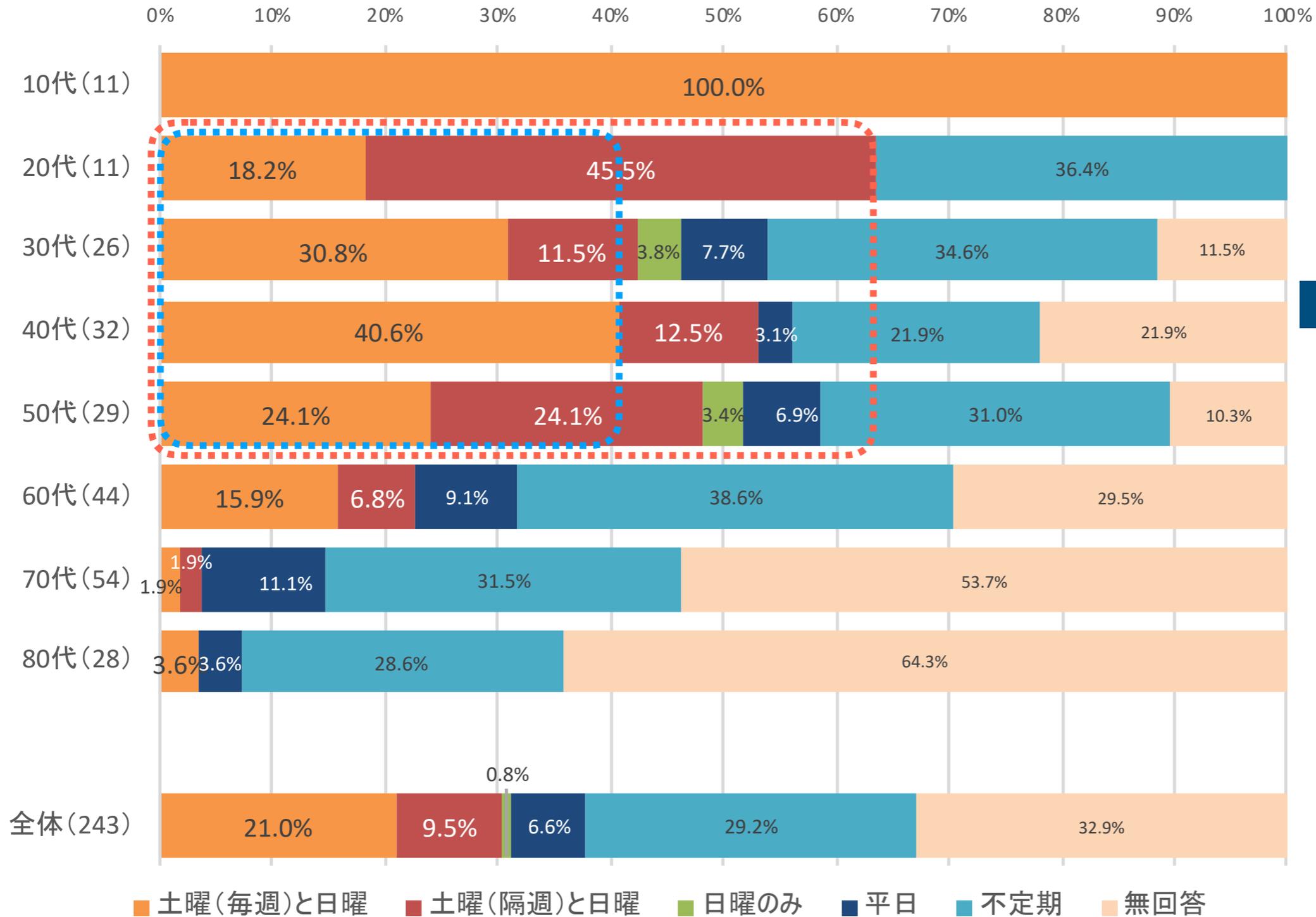


関心なし+不参加の理由（回答数37）



休日はいづか？（年代別）

関川村四ヶ字地区（2020）



20~50代

土曜日が毎週休み
2~4割

日曜日が毎週休み
5~6割

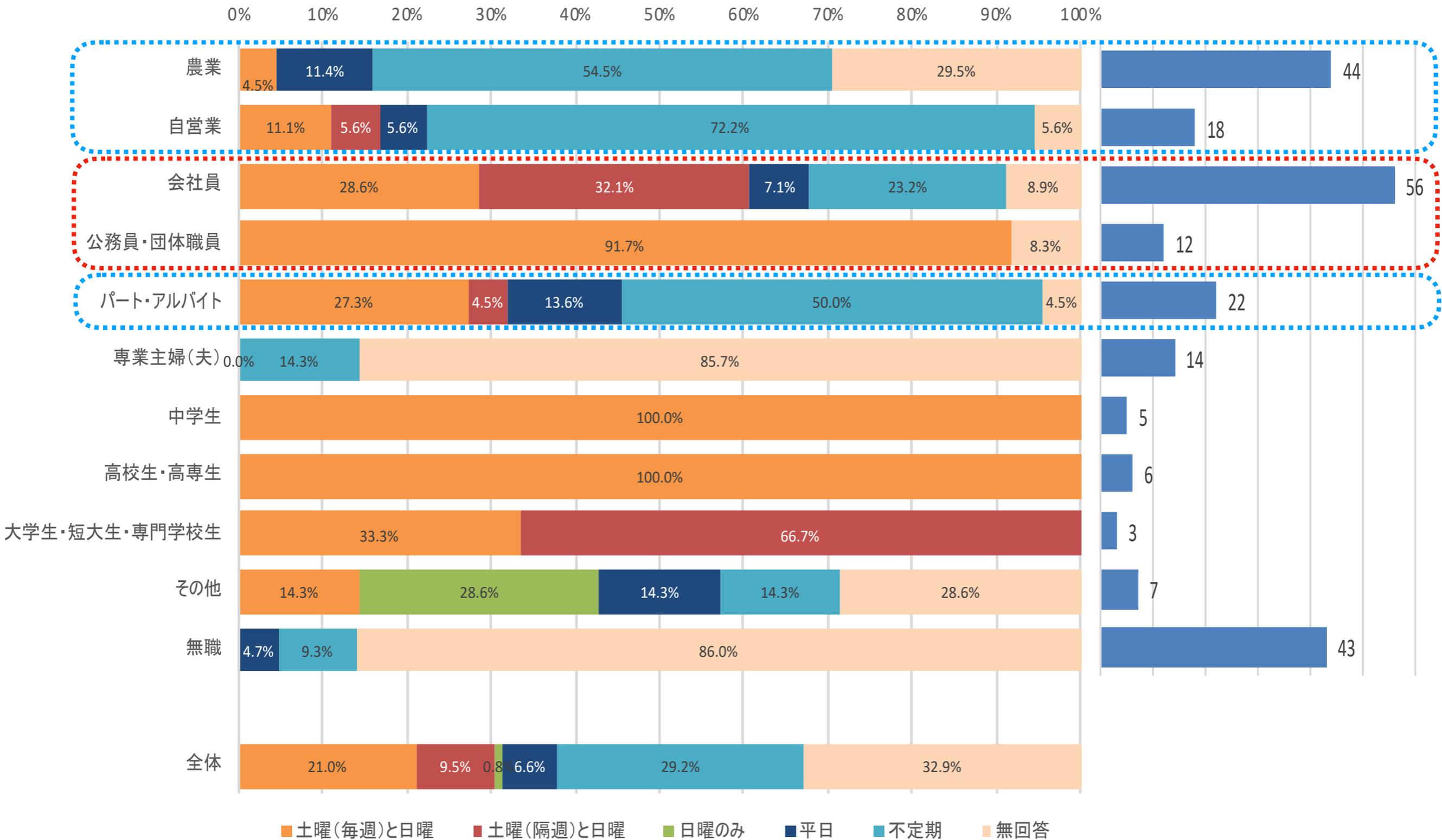
休みが平日・不定期
2~3割

必ずしも土日は休みではない

この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！

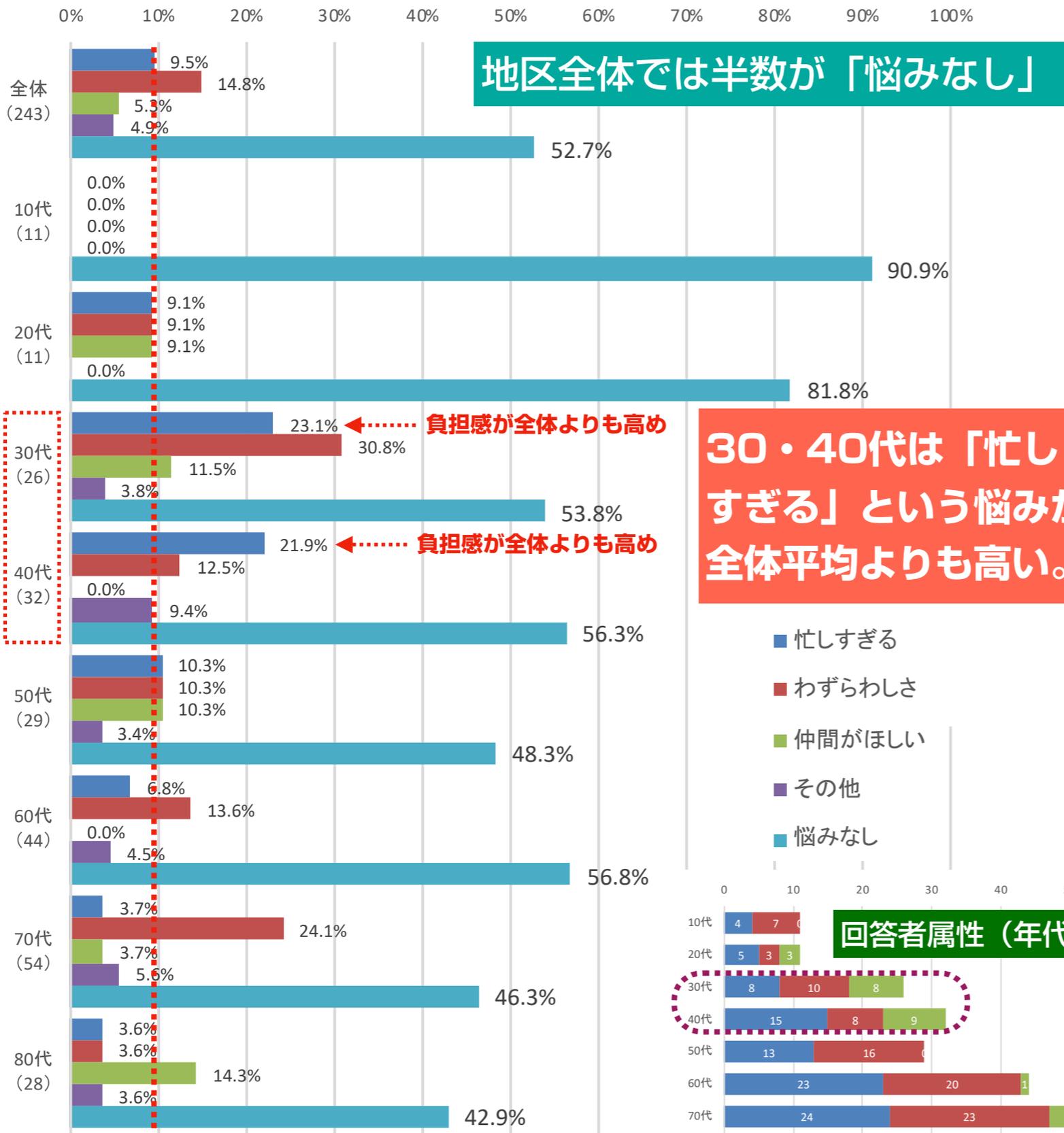
休日はいづか？（職業別）

関川村四ヶ字地区（2020）

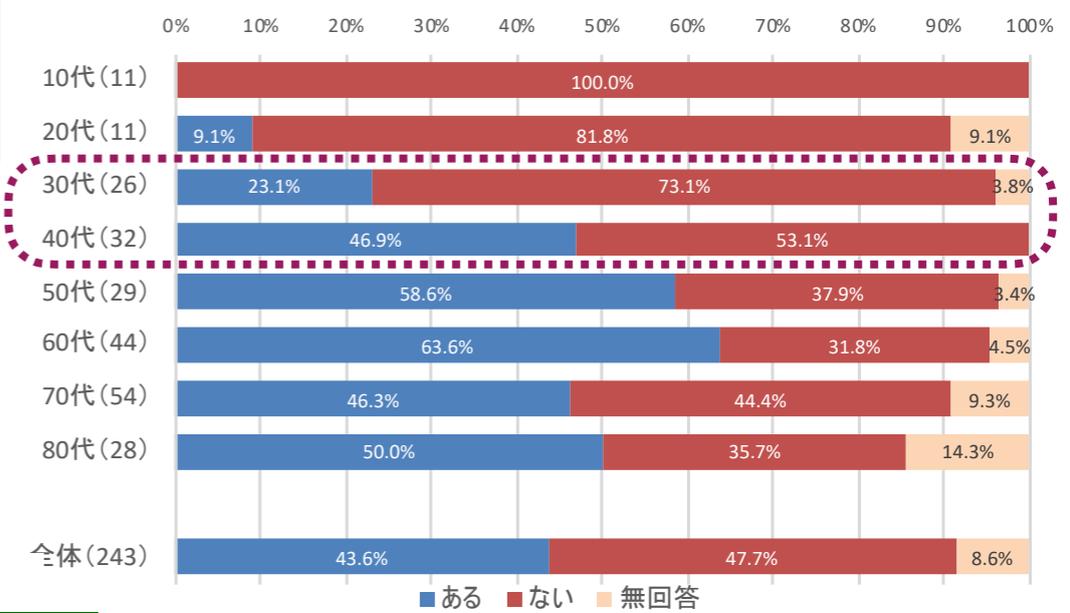
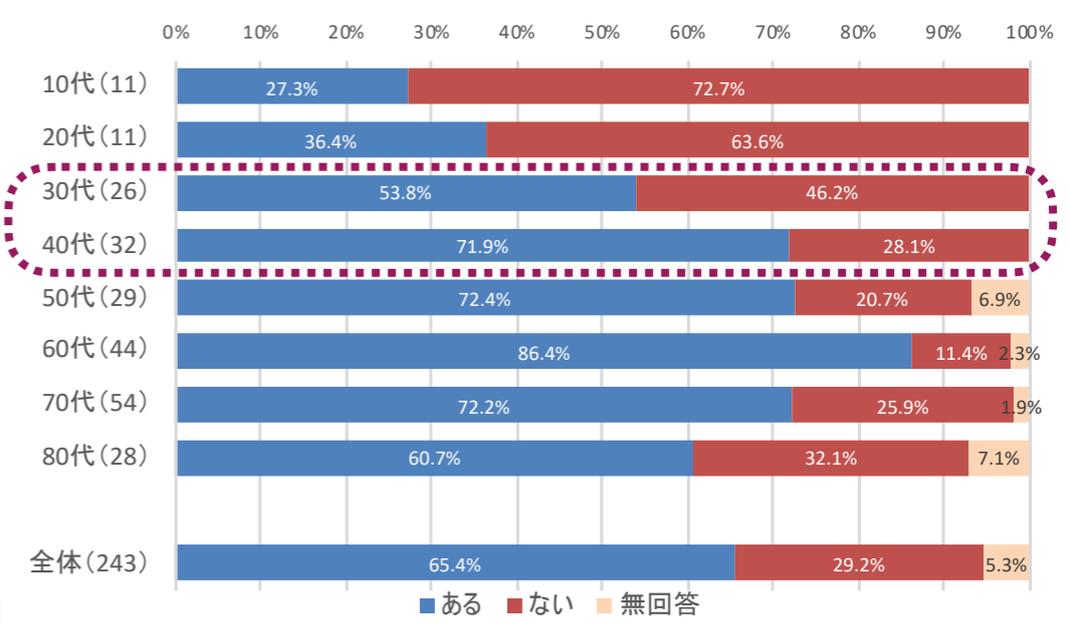
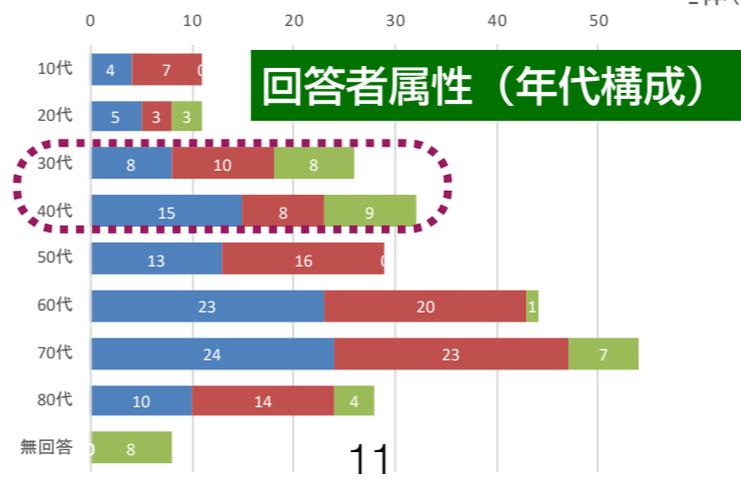


当然、職業によっても休日は異なる → 行事・共同作業の曜日設定に配慮が必要

近所づきあいでの悩み / 会議出席・役員経験の有無 (年代別)

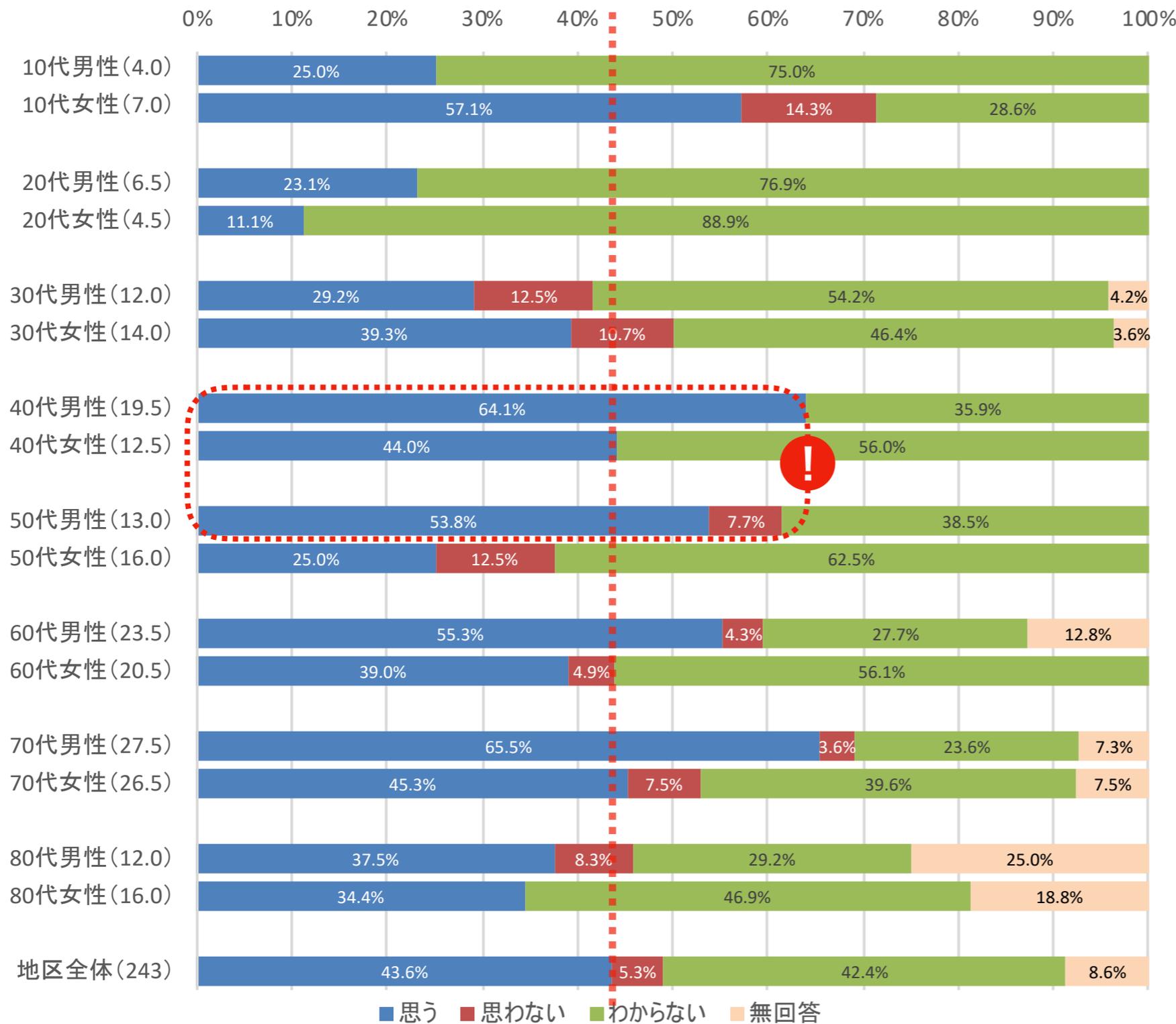


- 忙しすぎる
- わずらわしさ
- 仲間がほしい
- その他
- 悩みなし

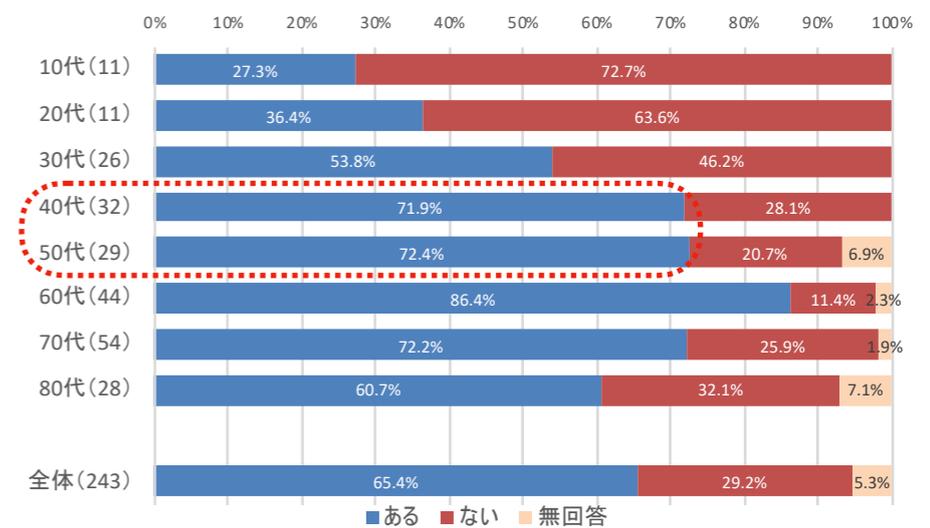


人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないならば、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 関川村四ヶ字地区 (2020)



次の担い手世代である
40～50代男性は
声を反映すべきという割合が
地区平均以上
 ※40代女性も地区平均と同等



会議への出席有無 (年代別)

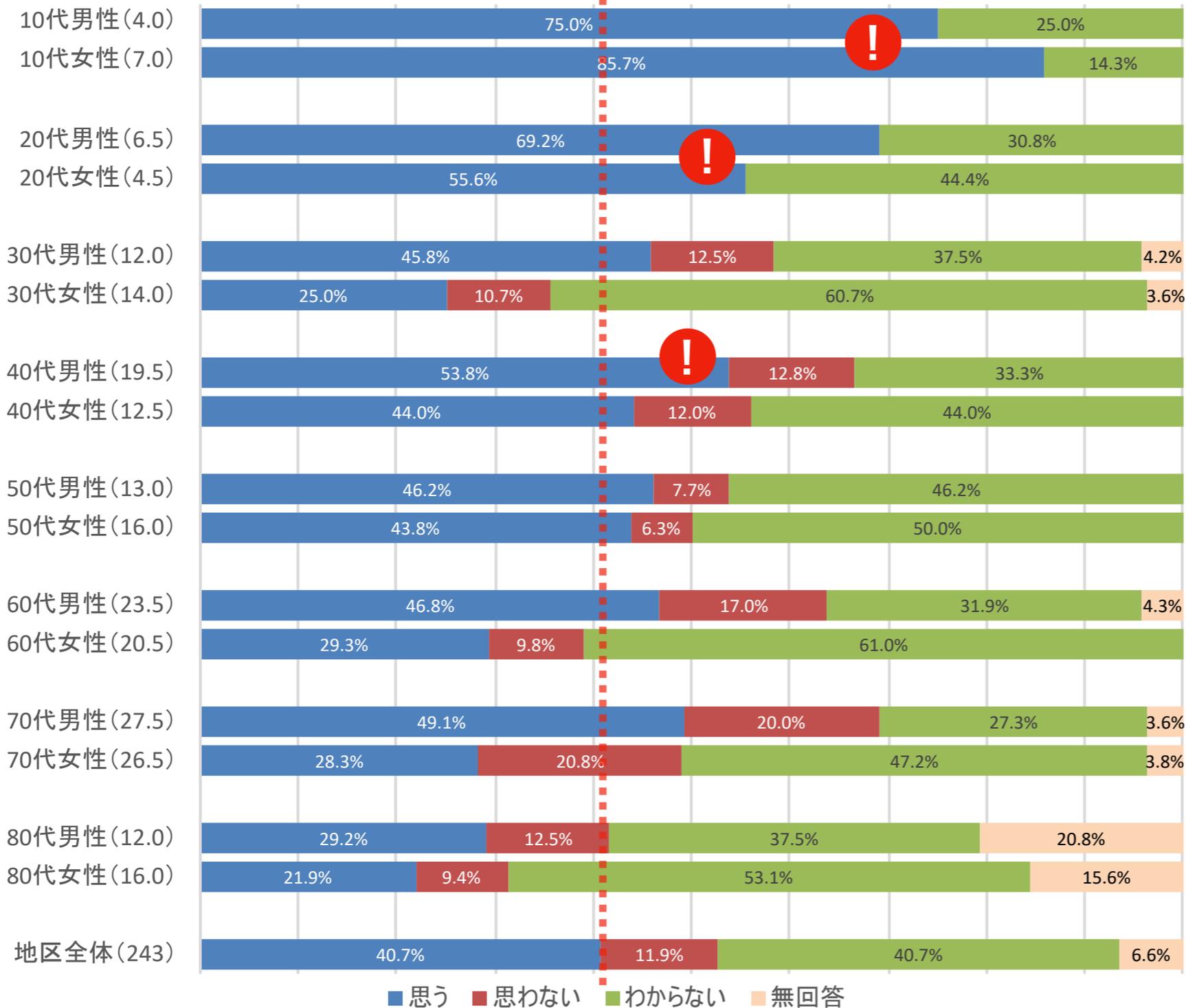
40・50代の会議出席経験率は高い
 ↓
**声を反映させる場・機会の
 充足・工夫が必要**

地区全体では、「わからない」と「必要」がほぼ同じ割合
男性は必要性を感じているが、女性は「わからない」が多い

定住受入の必要性 (年代別×男女別)

関川村四ヶ字地区 (2020)

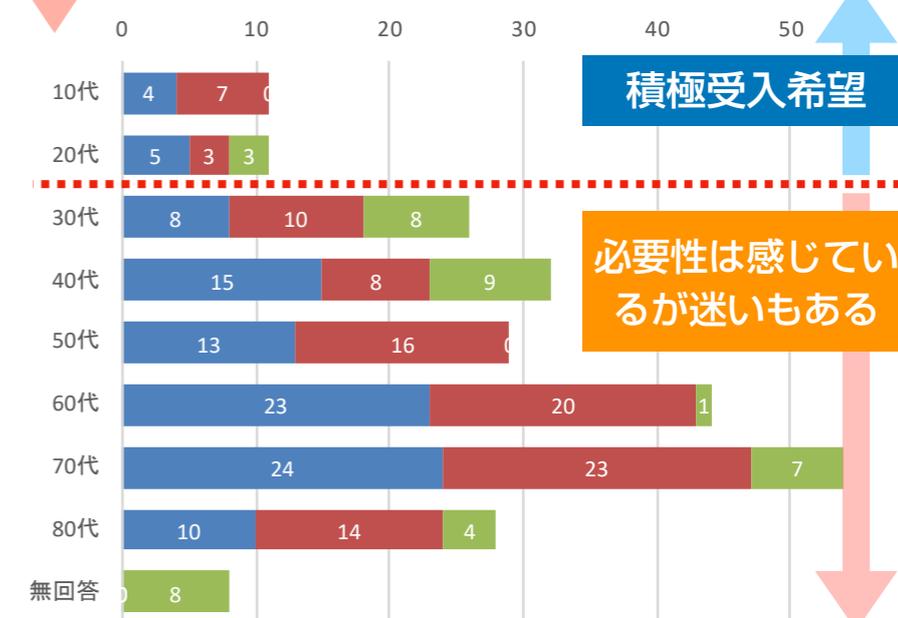
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



受入の必要性を強く
思っている世代

必要性は感じているが
迷いもある世代

回答者属性 (年代構成)

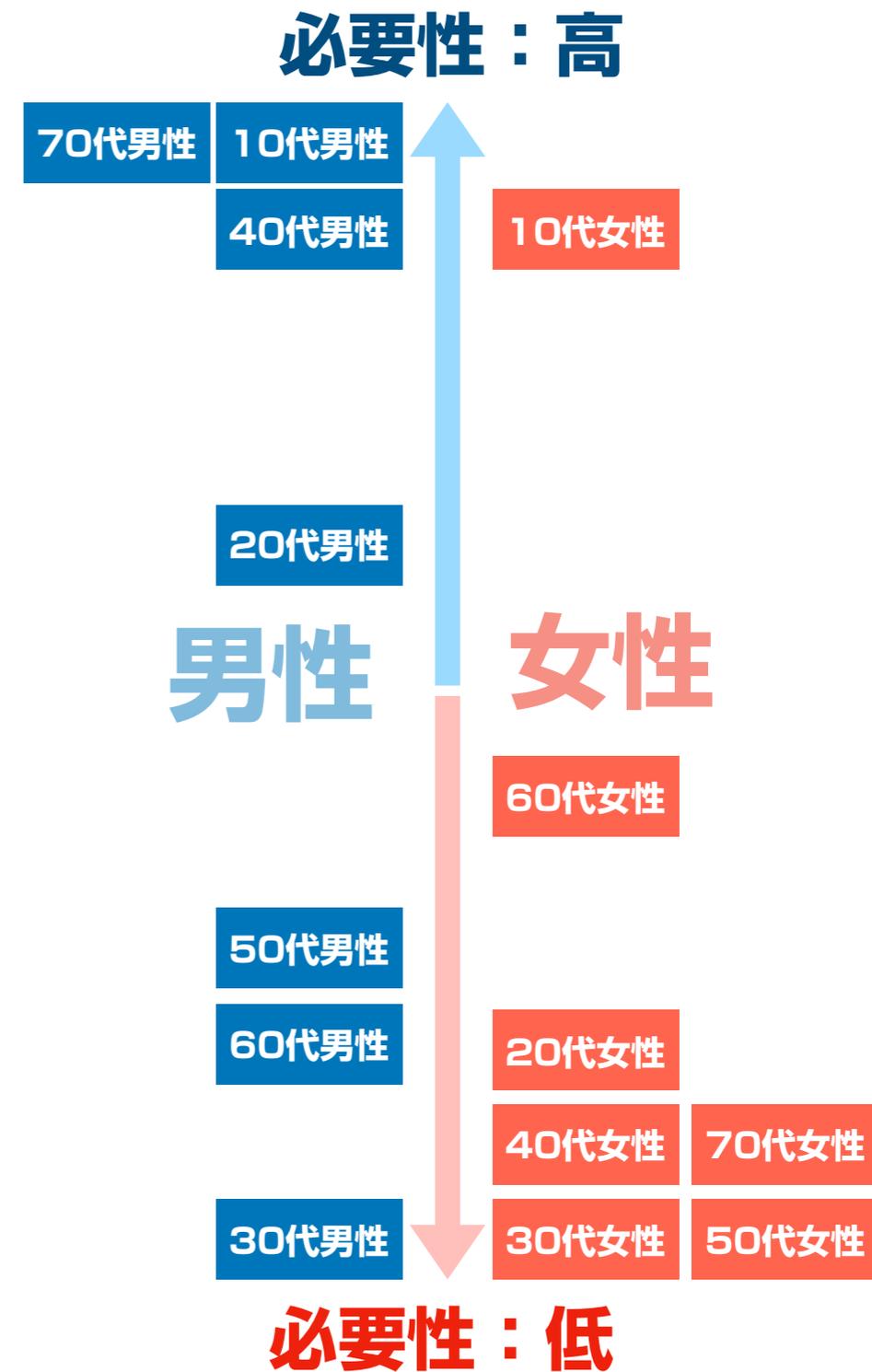
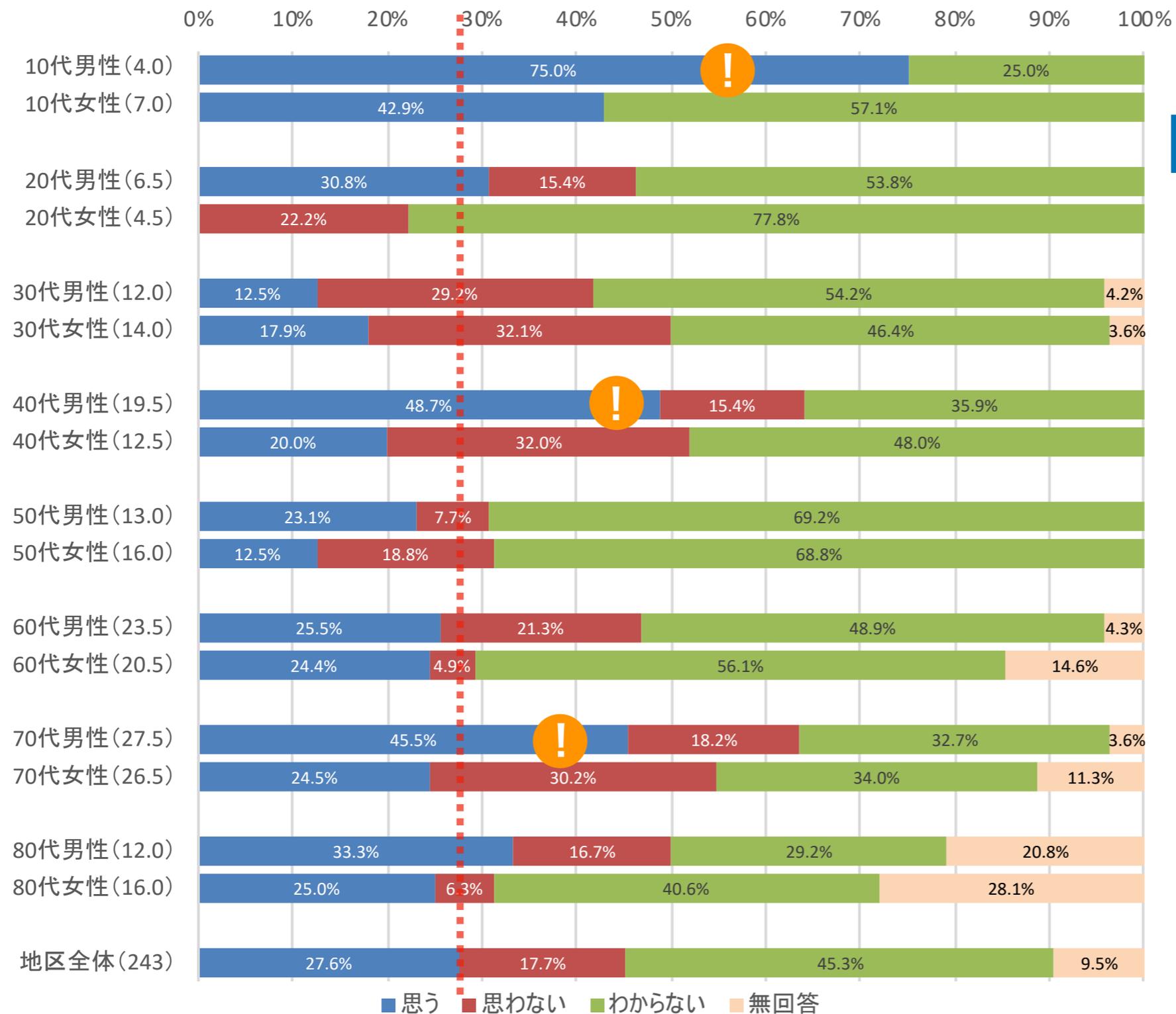


地区全体では約4割が「必要」だと思っている。

20代以下は「必要」という割合が高い。

他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)

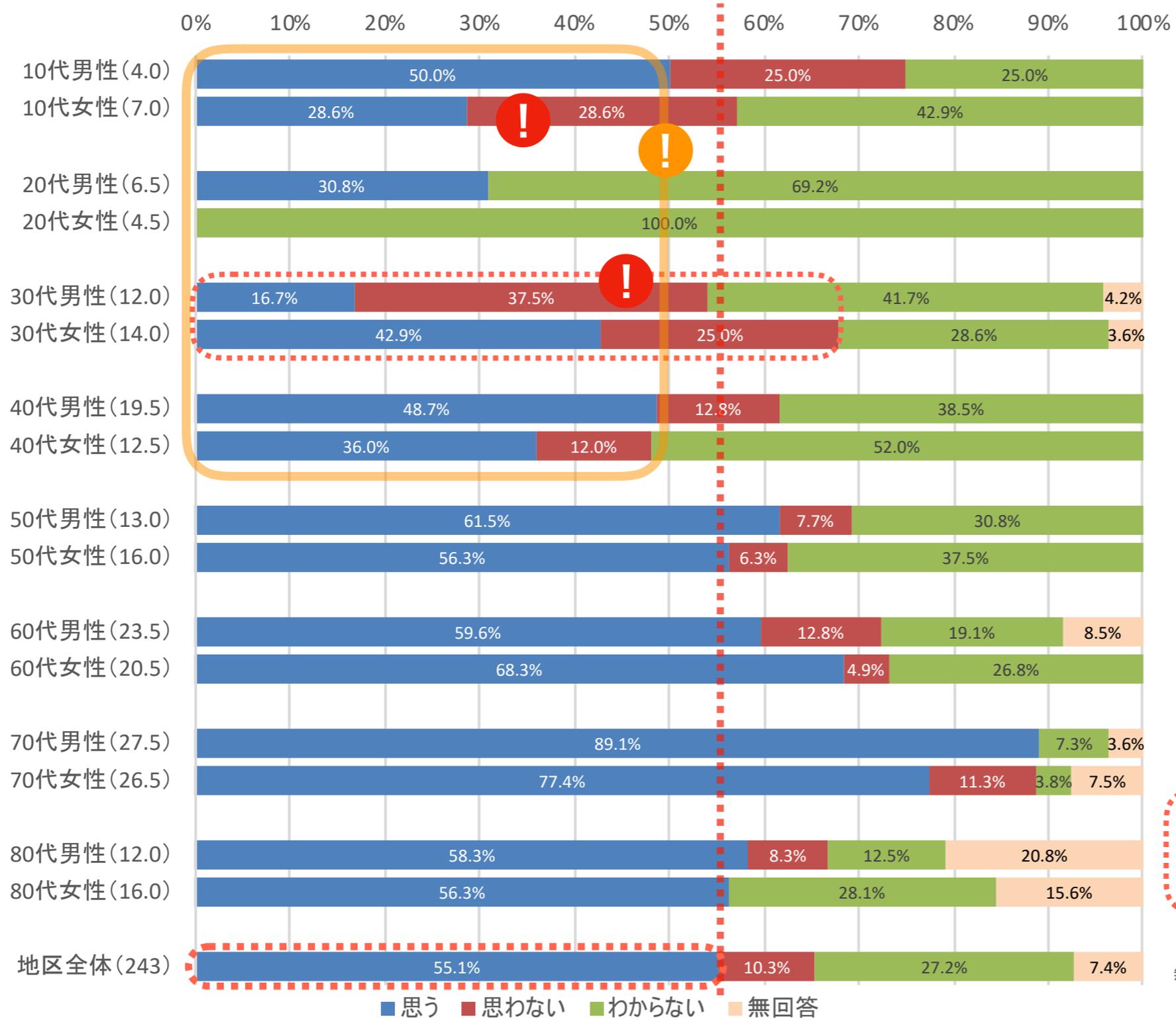
関川村四ヶ字地区 (2020)



地区全体では「わからない」という割合が半数近く。

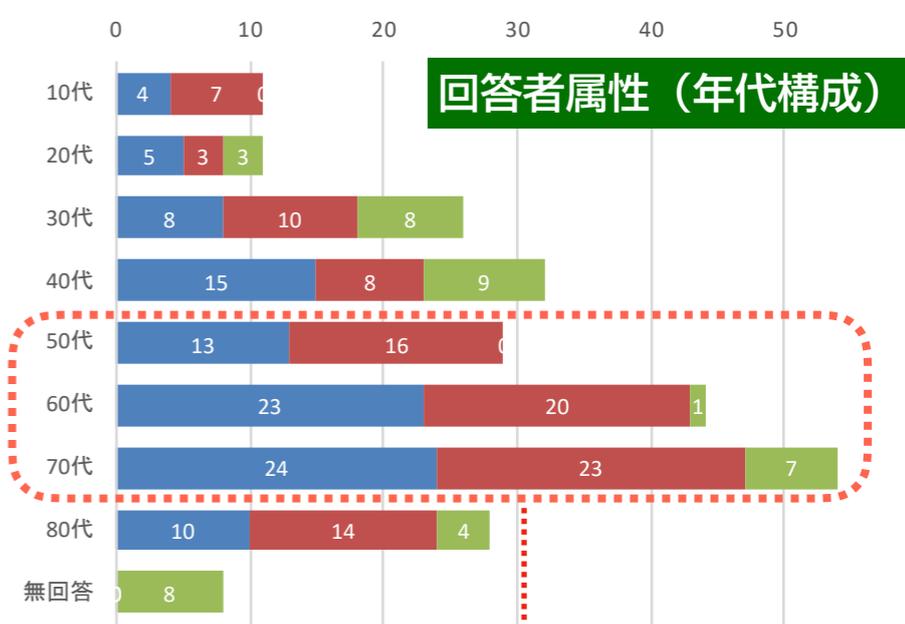
世代・男女によって大きく意向が異なっている。

この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 関川村四ヶ字地区 (2020)



10~40代は
地区平均より低い

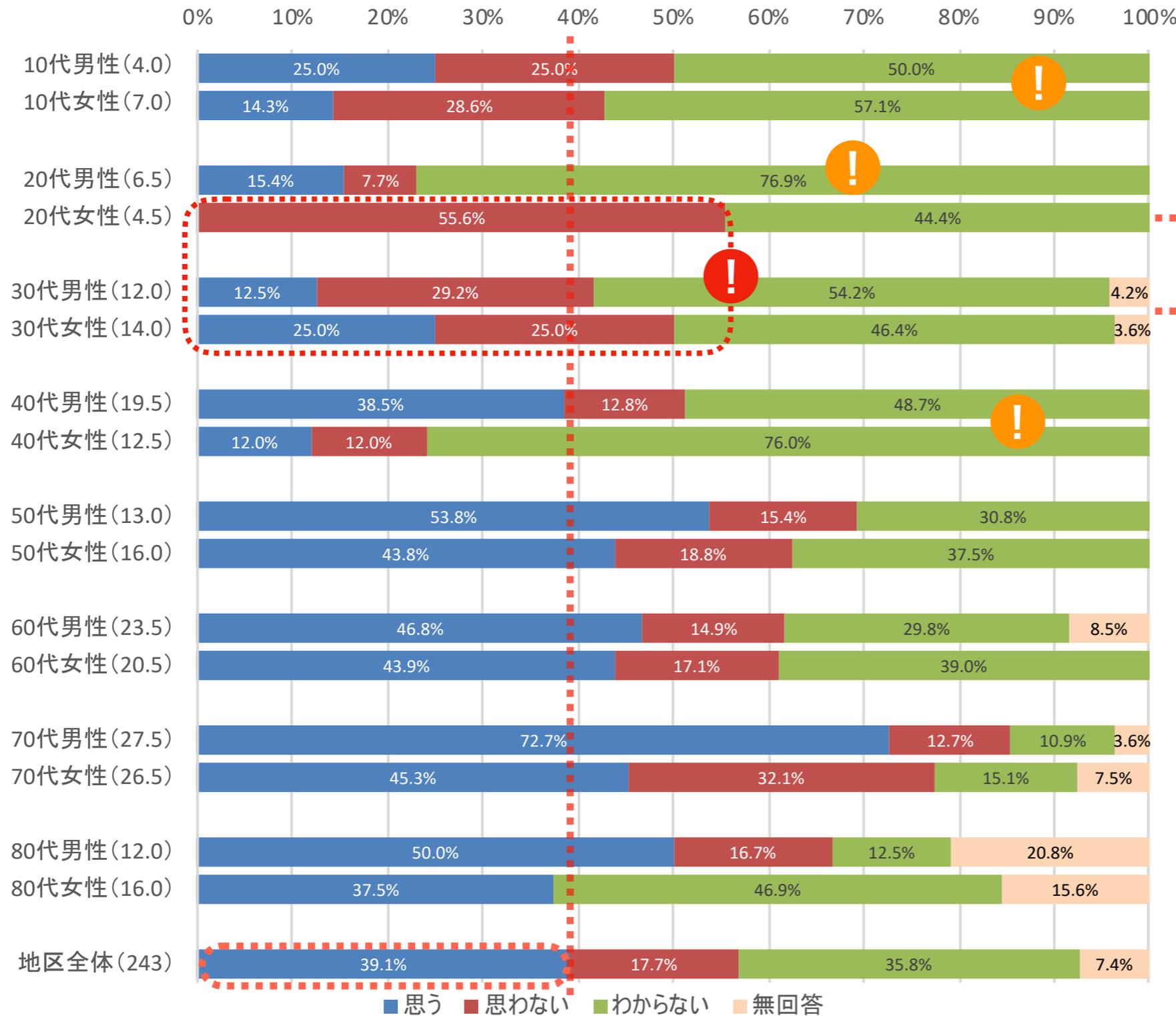
30代男性は
1/3以上が思わない
10代女性も3割近く



地区全体では「住み続けたいと思う」は半数以上

多数派の意見が色濃く
反映された結果

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



⇒ **思わないが半数以上**

⇒ **思う ≦ 思わない**

30代以下は、
**住み続けてほしい
とは思わない**
の割合が高い！

10代・20代男性
40代の親世代は
わからない
の割合が最も高い

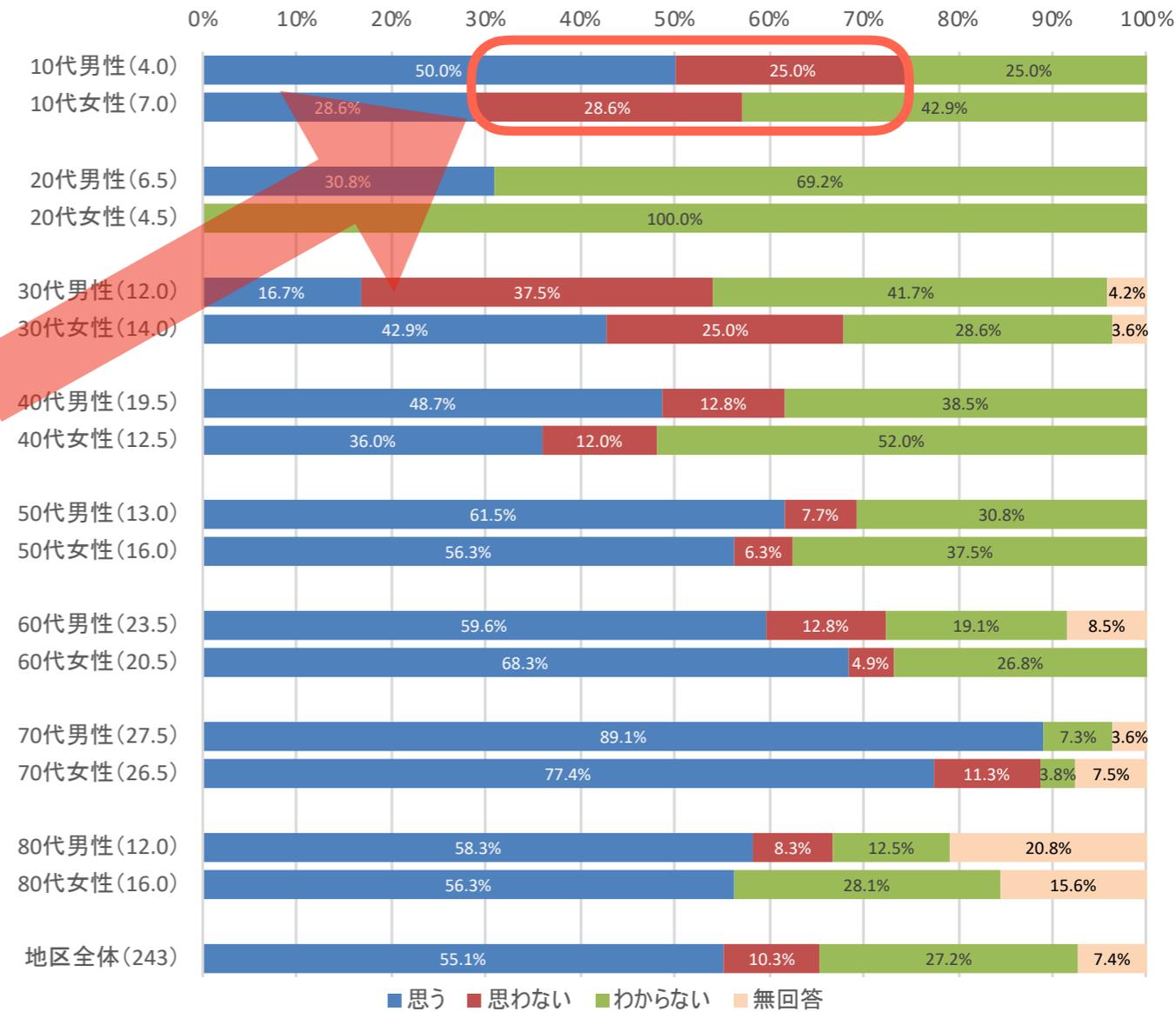
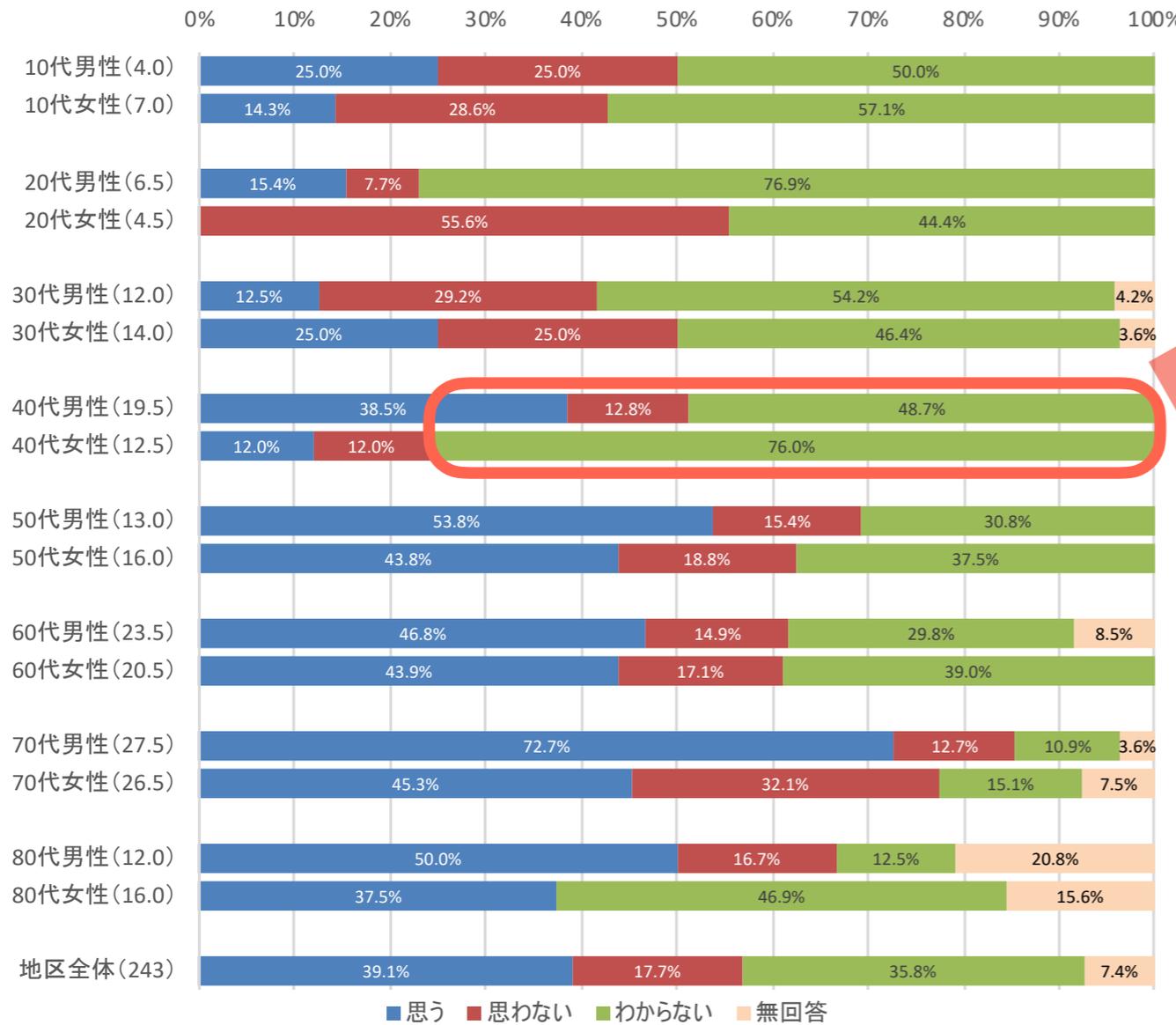
地区全体では「住み続けてほしい」は4割

子育て中の親世代（40代）は「わからない」の割合が高い

子ども世代（10代）は1/4が「住み続けたいと思わない」

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？（年代別×男女別）

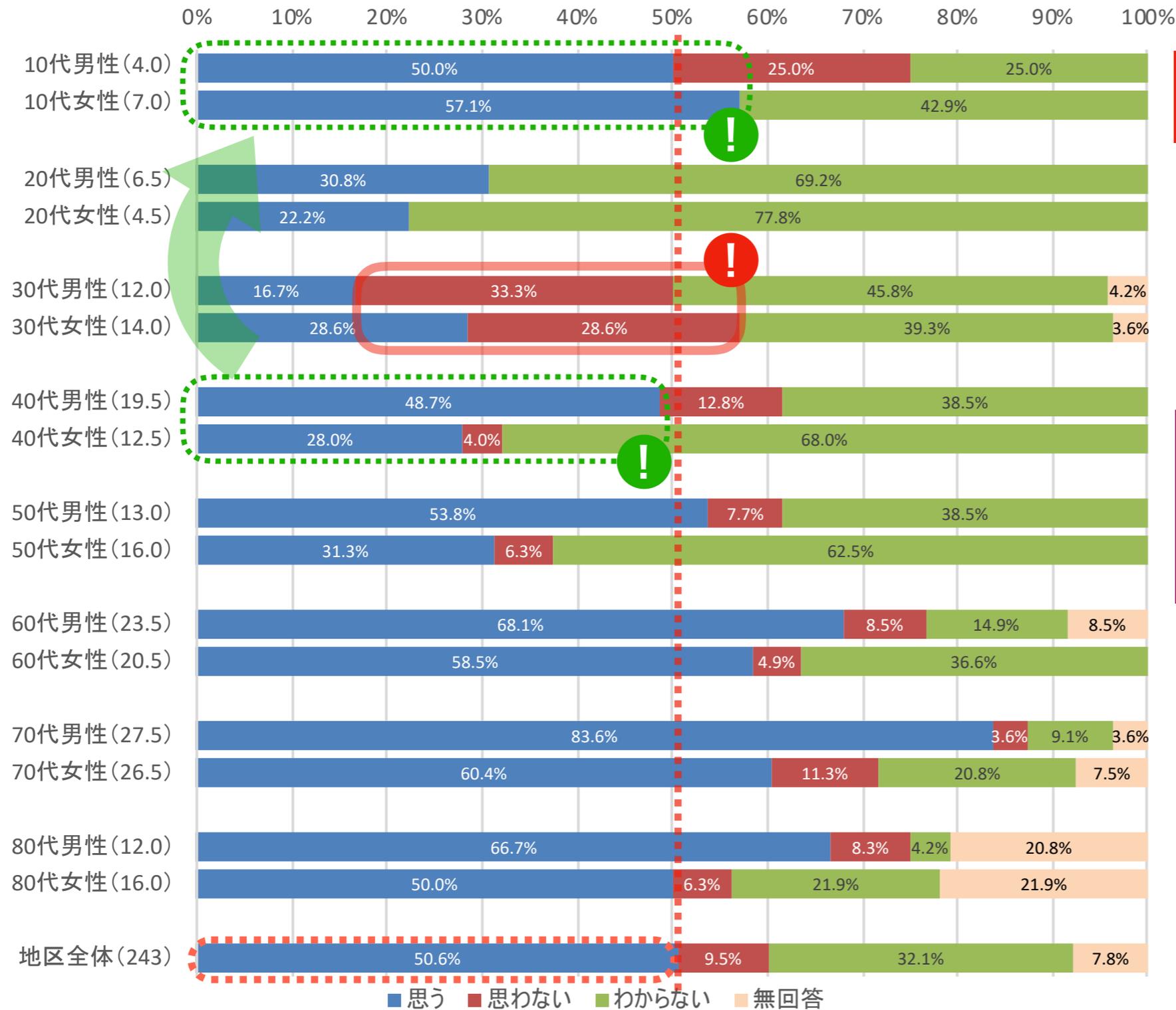
この地域に住み続けたいと思うか？（年代別×男女別）



親世代の不安感が、子世代に影響している!?

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

関川村四ヶ字地区 (2020)



30代の愛着度が低い

この世代の定住意向の低さに大きく関連している?!



今後、子どもたちの地域への愛着・定住意向に大きな影響が出てくる可能性?!



10代と40代は地区平均と同割合



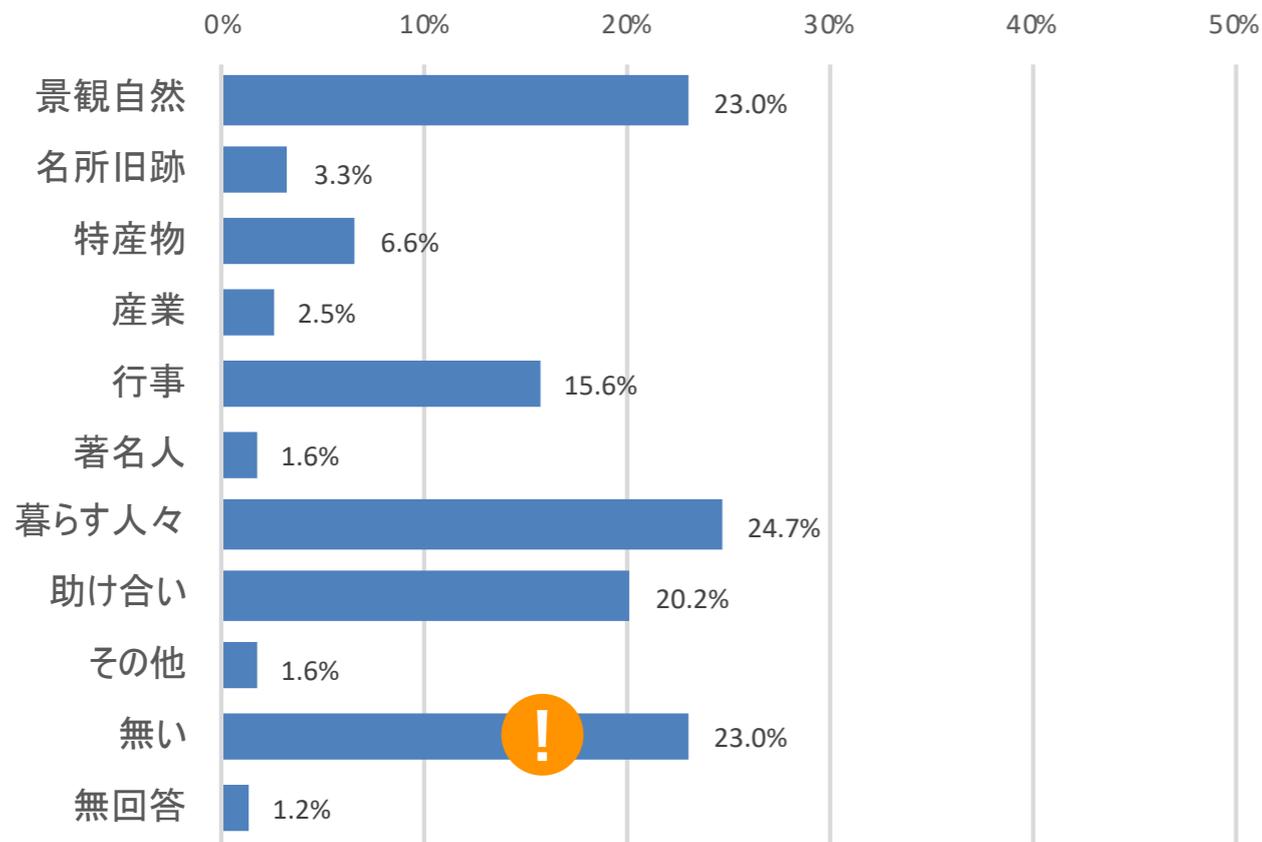
親世代の地域への愛着が子どもにも影響している?!

「愛着がある」が半数

誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

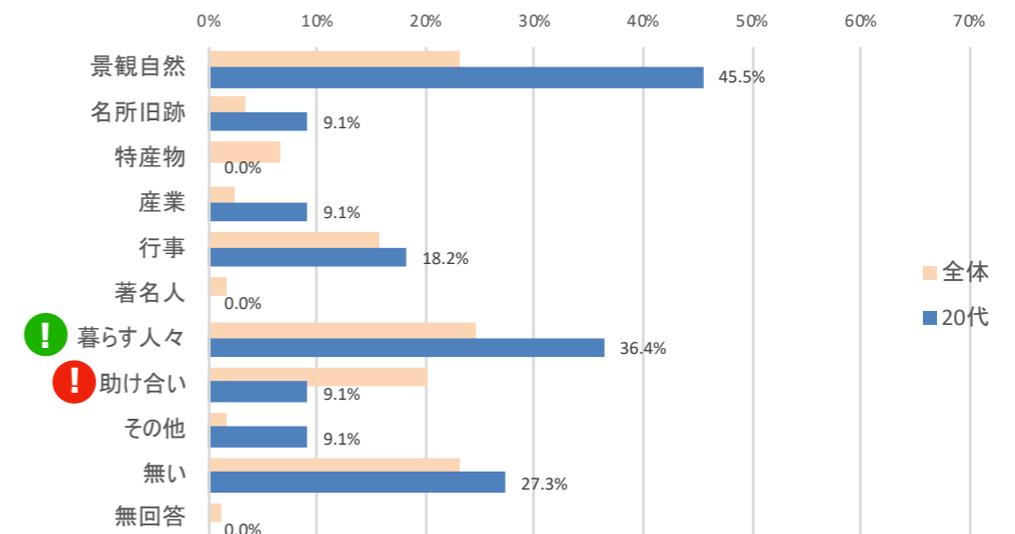
関川村四ヶ字地区 (2020)

地区全体 (複数回答)

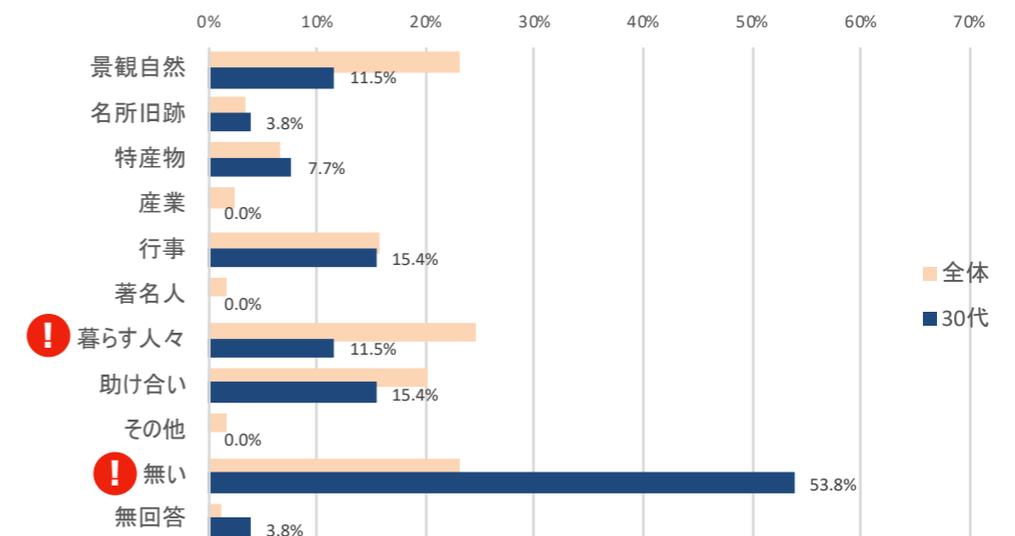


誇りに思うものはないが全体で2番目

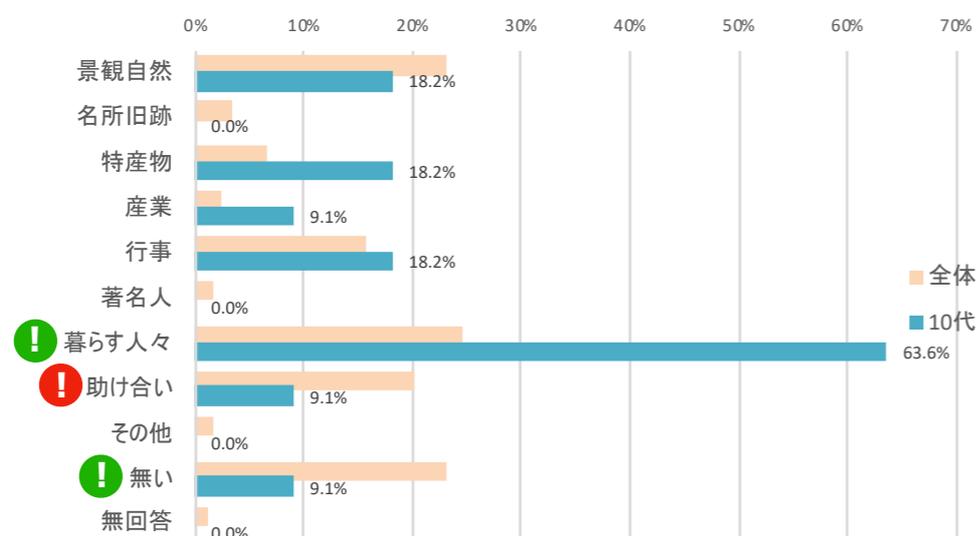
20代



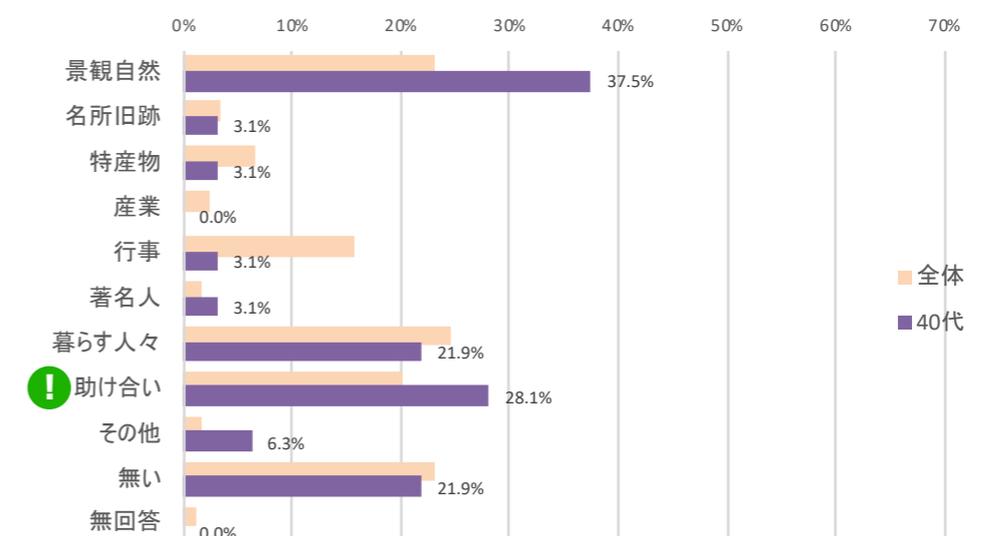
30代



10代



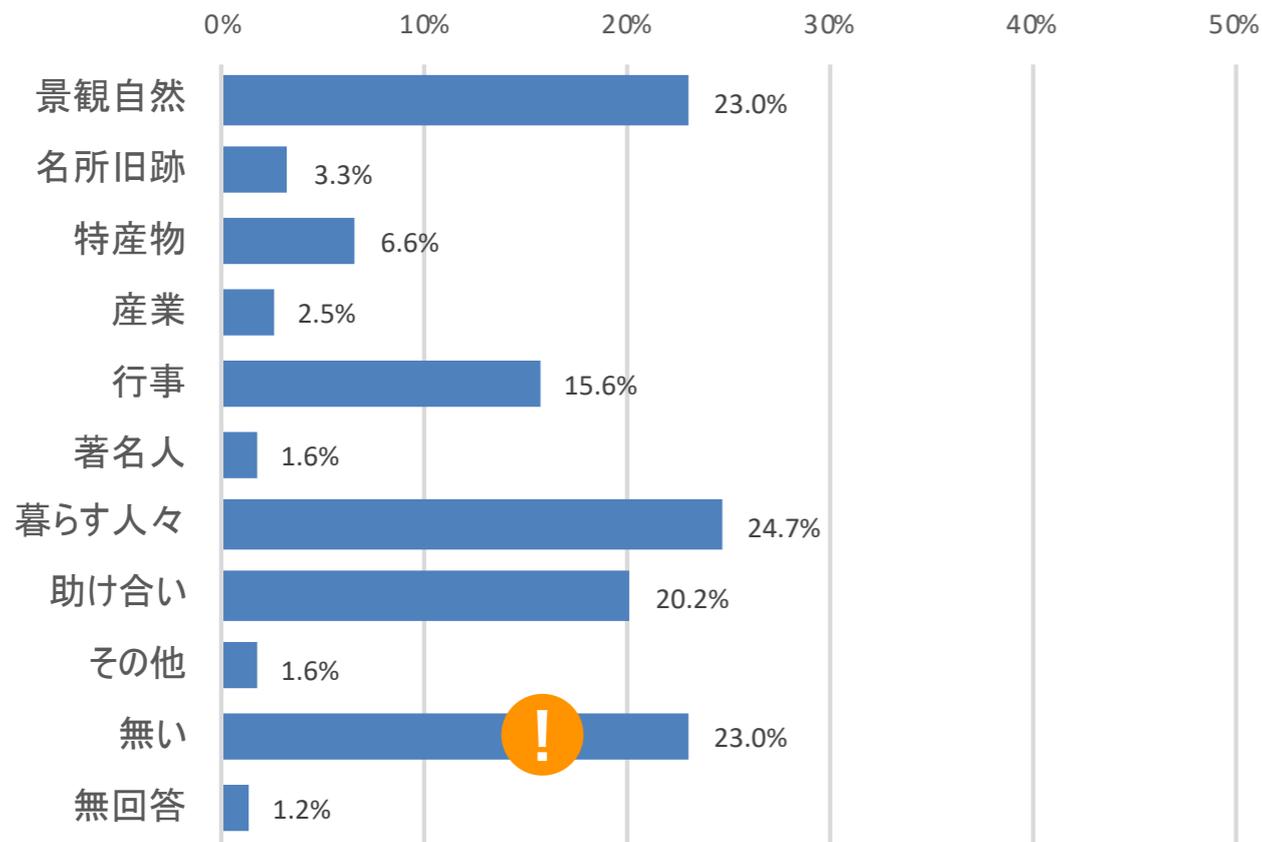
40代



誇りに思う地域資源は何か (50代~)

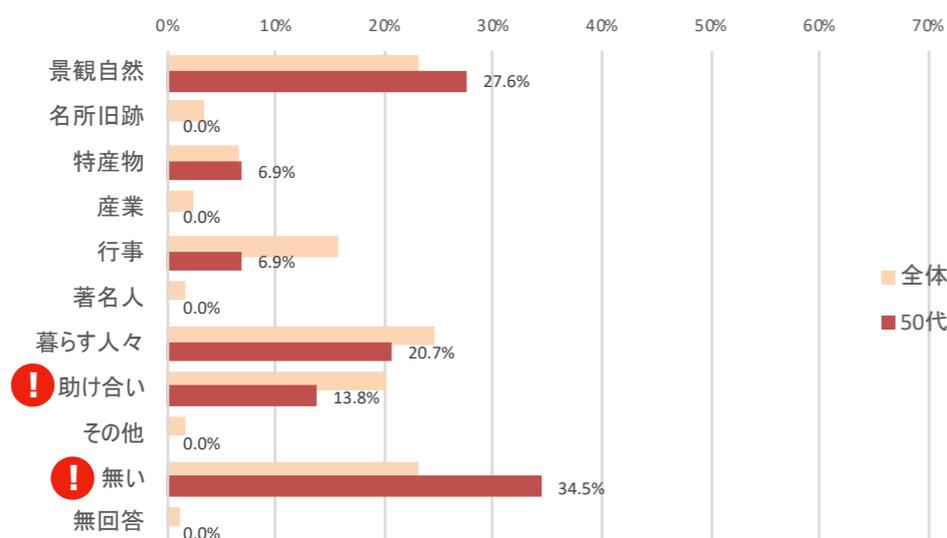
関川村四ヶ字地区 (2020)

地区全体 (複数回答)

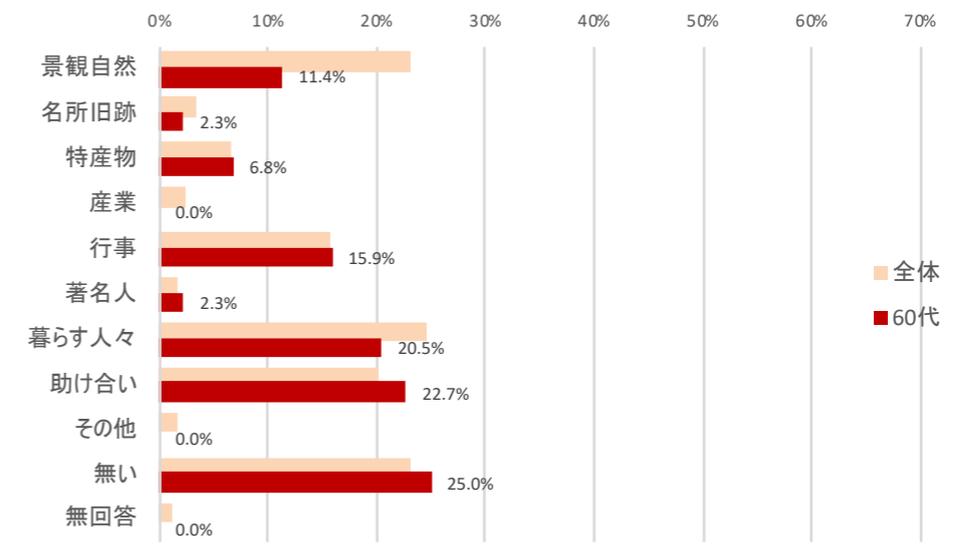


誇りに思うものはないが全体で2番目

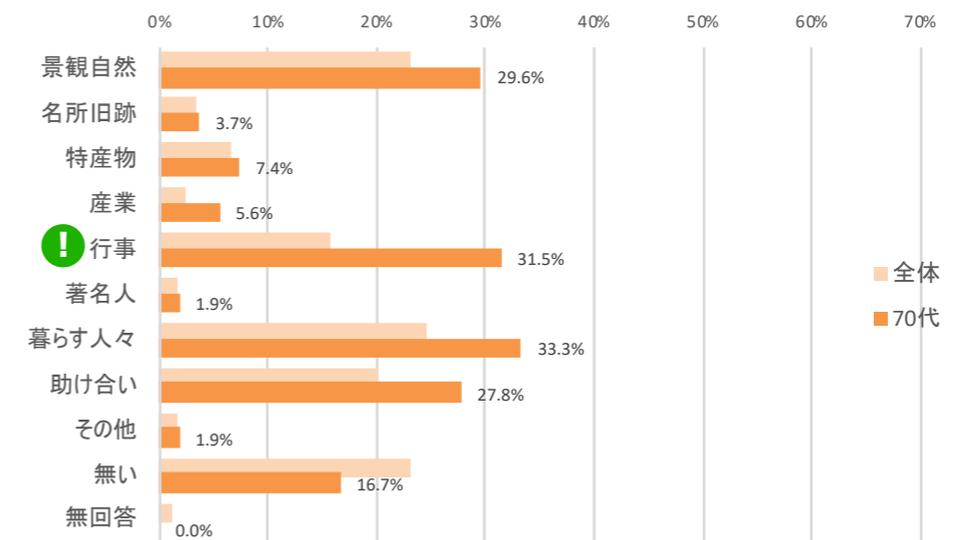
50代



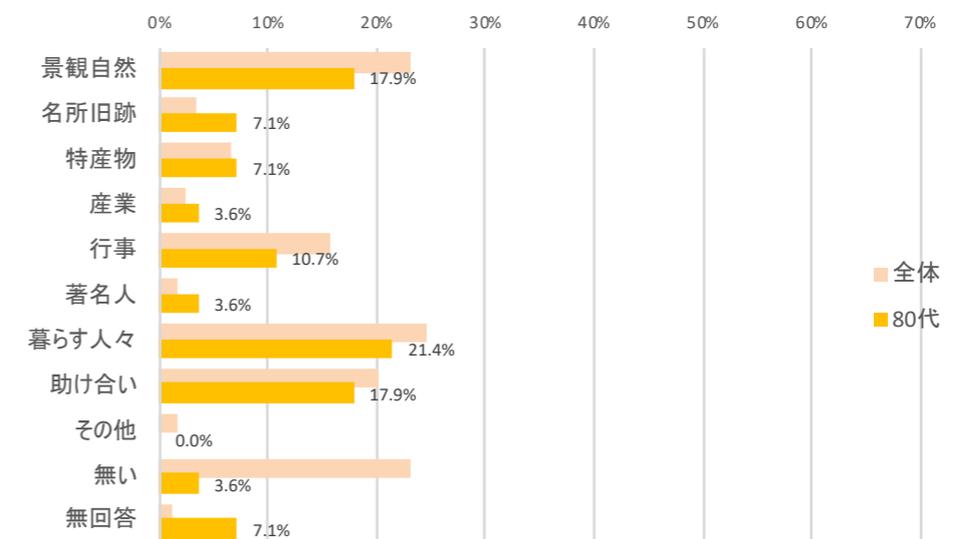
60代



70代



80代

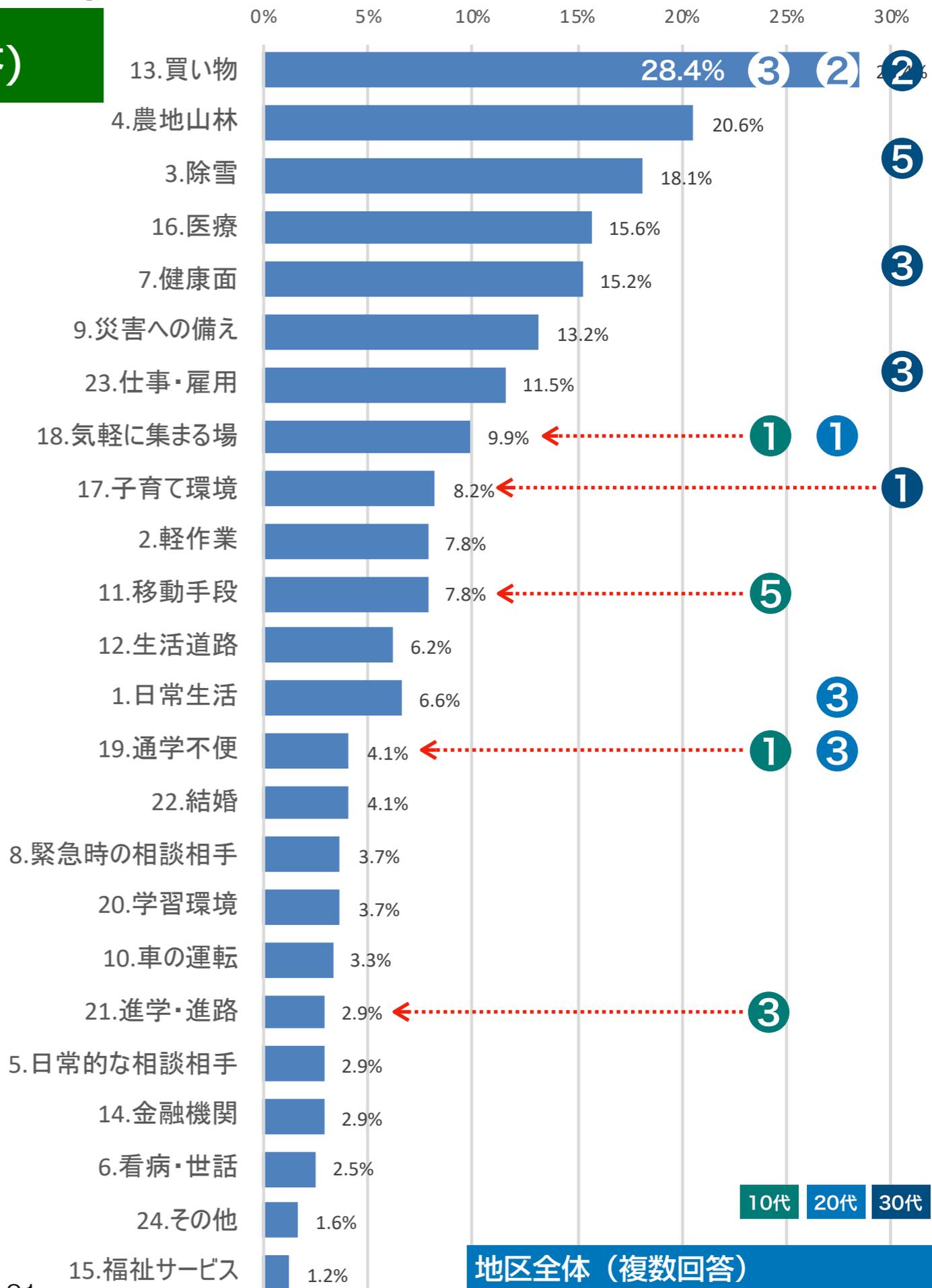


暮らしの中の困りごと (複数回答)

10代			
10代	1	仲間と気軽に集まる場所がない	36.4%
		学校が遠く、通学が不便である	36.4%
	3	商店が少なく、日常の買い物が不便	27.3%
		進学・進路	27.3%
	5	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	18.2%

20代			
20代	1	仲間と気軽に集まる場所がない	45.5%
	2	商店が少なく、日常の買い物が不便	36.4%
	3	食事づくり、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活	18.2%
		学校が遠く、通学が不便である	18.2%

30代			
30代	1	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	30.8%
	2	商店が少なく、日常の買い物が不便	26.9%
	3	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	15.4%
		病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	15.4%
		仕事・雇用	15.4%



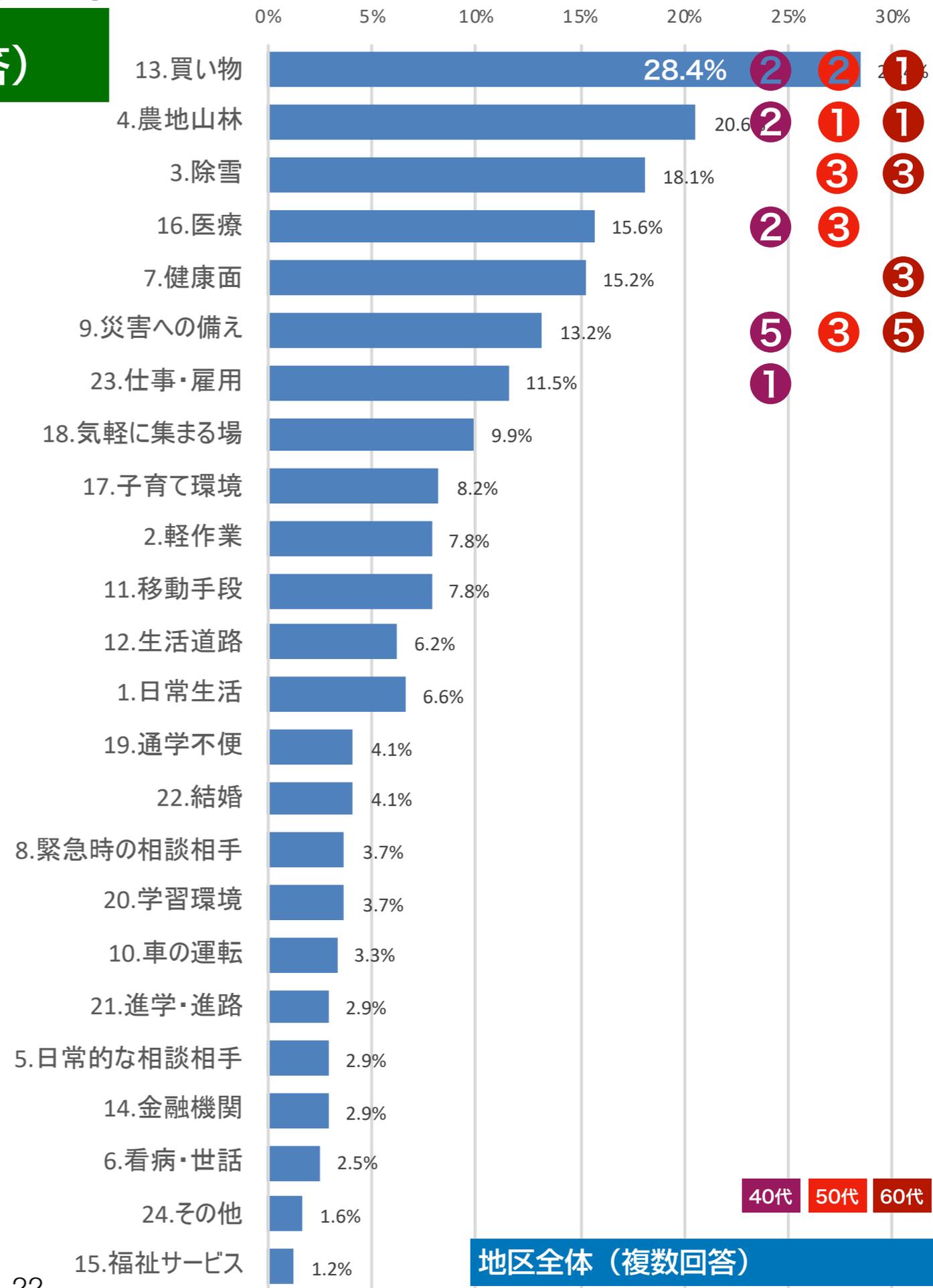
地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

40代		
1	仕事・雇用	28.1%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	25.0%
	農地、山林の維持管理	25.0%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	25.0%
5	災害への備えや避難	21.9%

50代		
1	仕事・雇用	31.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	27.6%
3	農地、山林の維持管理	17.2%
	災害への備えや避難	17.2%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	17.2%

60代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	27.3%
	農地、山林の維持管理	27.3%
3	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	22.7%
	健康面への不安がある	22.7%
5	災害への備えや避難	20.5%

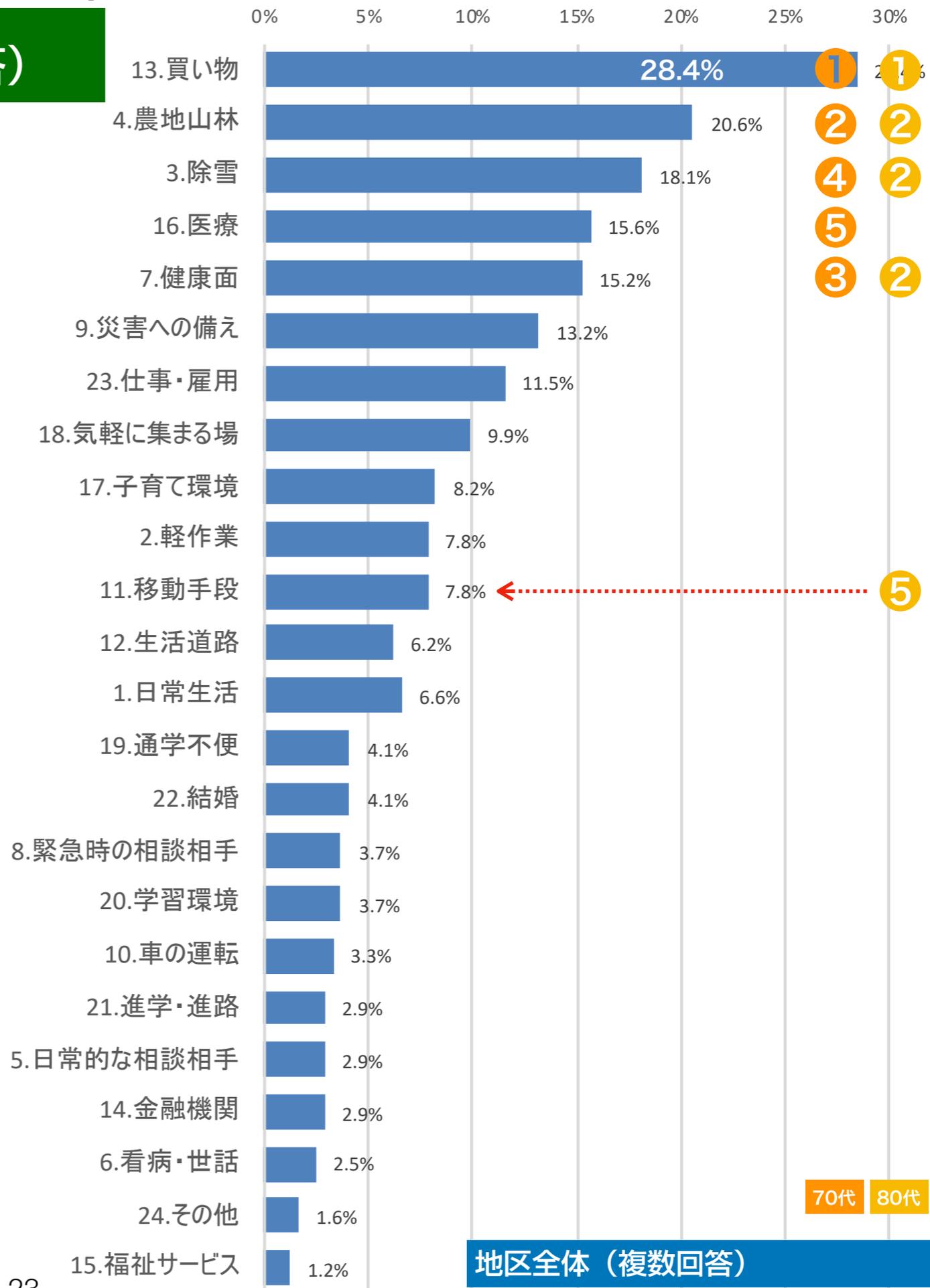


地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

70代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	33.3%
2	農地、山林の維持管理	31.5%
3	健康面への不安がある	29.6%
4	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	27.8%
5	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	22.2%

80代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	28.6%
2	農地、山林の維持管理	17.9%
	健康面への不安がある	17.9%
	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	17.9%
5	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	14.3%



70代 80代 地区全体 (複数回答)

第1位 商店が少なく、日常の買い物が不便 28.4%

すべての世代で上位にランクイン (60代以上ではトップ)

第2位 農地や山林の維持管理 20.6%

30代以上で上位にランクイン

第3位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 18.1%

30代及び60代以上で上位にランクイン

→30・60代は担い手不足への懸念、70代以上は作業自体への不安?

第4位 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる 15.6%

30~50代、70代で上位にランクイン

→30~50代は子ども・親の介護、70代は自身の健康面から?

第5位 健康面への不安がある 15.2%

60代以上で上位にランクイン

特定の世代で
上位にランク
されている

第11位 買物・通院などの移動手段 (交通手段) 7.8%

10・80代では上位にランクイン

10代 (5位) / 80代 (5位) →自らの移動手段で困っている?!

第8位 仲間と気軽に集まる場所がない 9.9%

【10代】 第1位 【20代】 第1位 →同世代の集いの場がない?!

第11位 学校が遠く、通学が不便 4.1%

【10代】 第1位 【20代】 第3位

第6位 災害への備えや避難 13.2%

【40代】 第5位 【50代】 第3位 【60代】 第5位

人口減少・高齢化時代に対応した防災を求めている?!

第7位 仕事・雇用 11.5%

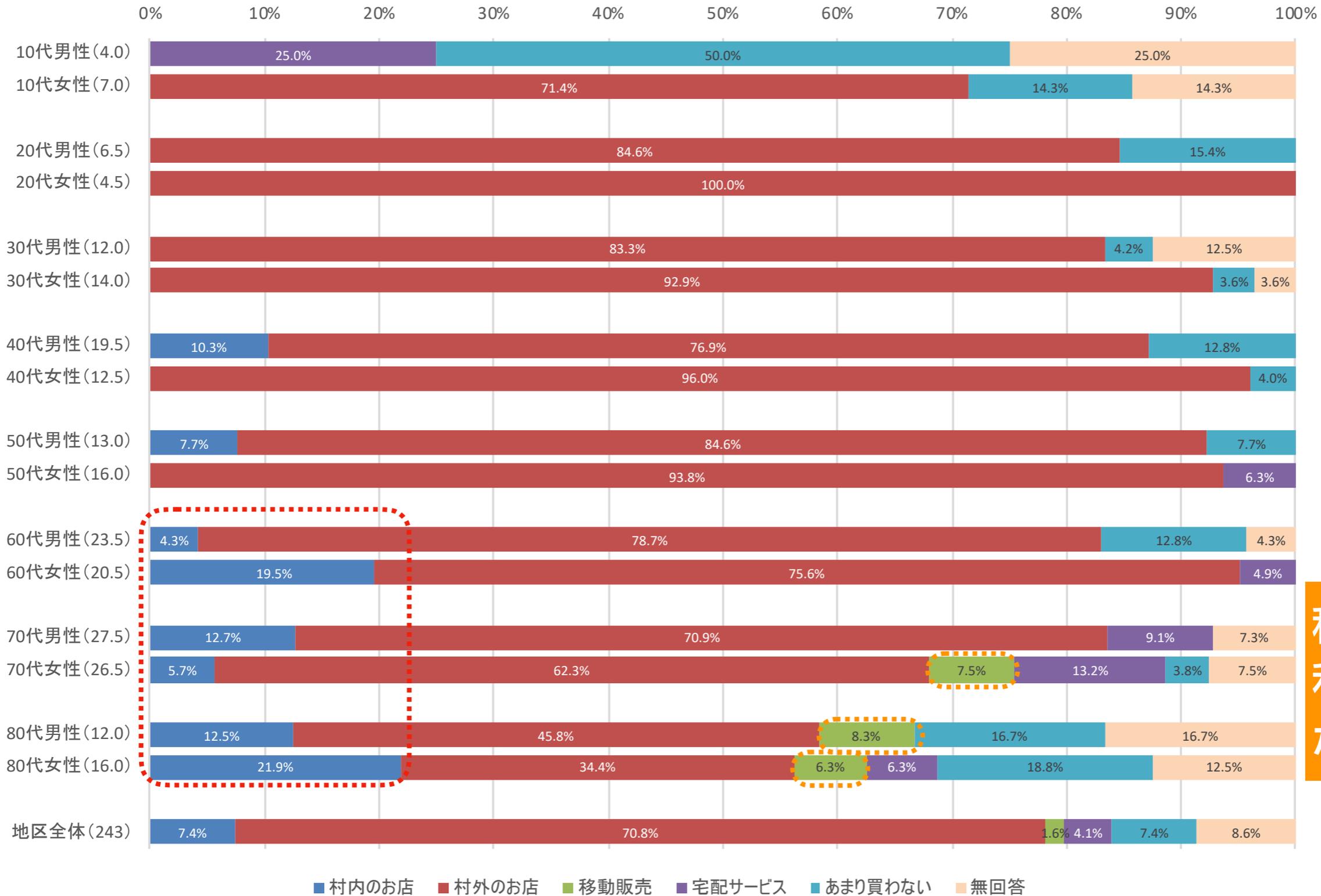
【30代】 第3位 【40代】 第1位 【50代】 第1位

全体での順位は
高くはないが、
若年世代
特有の困りごと

全体での順位は
高くはないが、
中堅世代
特有の困りごと

生鮮食品の購入場所

関川村四ヶ字地区 (2020)

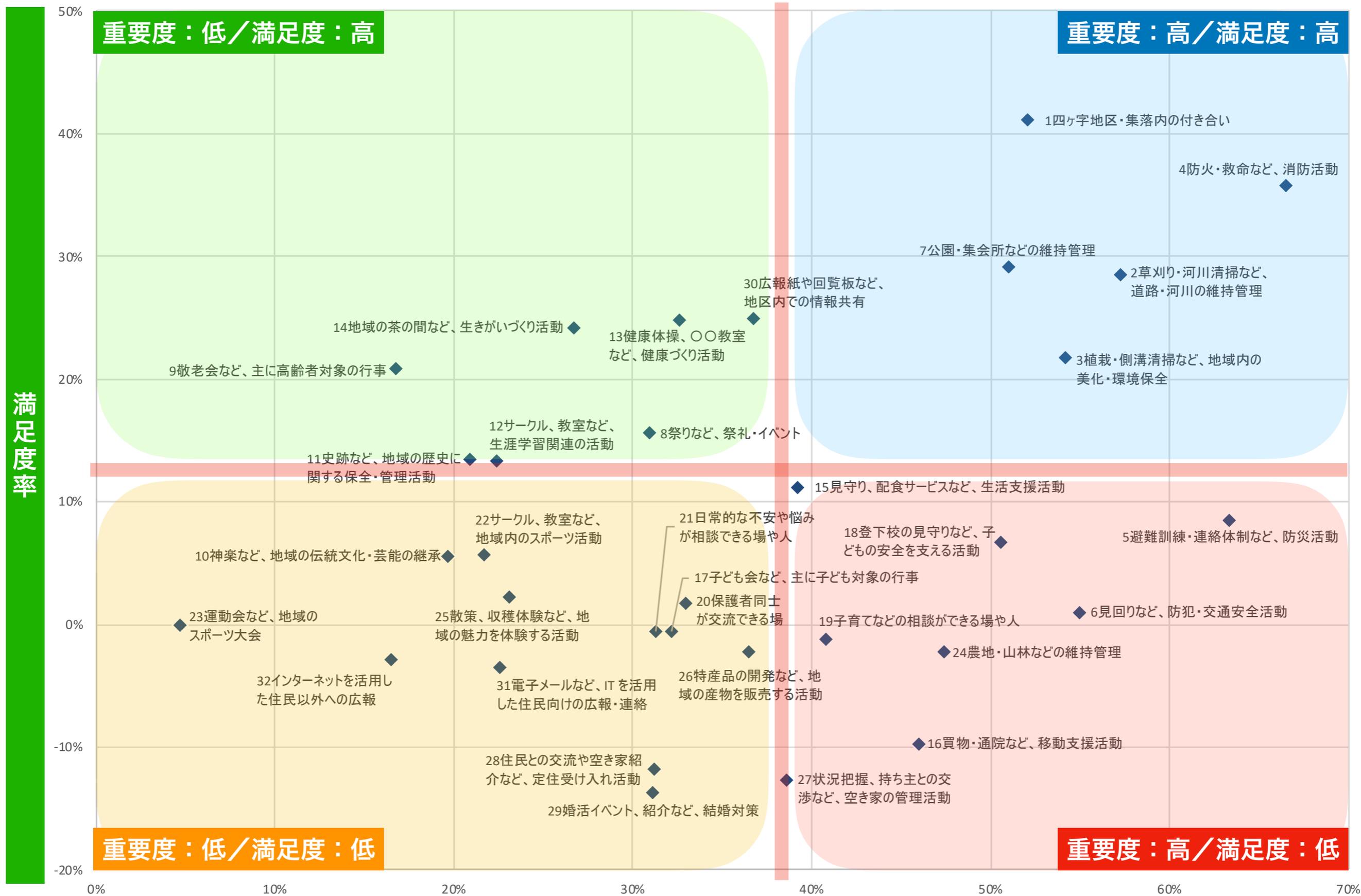


移動販売の
利用は70代
から

60代を超えると村内のお店で購入する割合が増加

取り組みの満足度と重要度

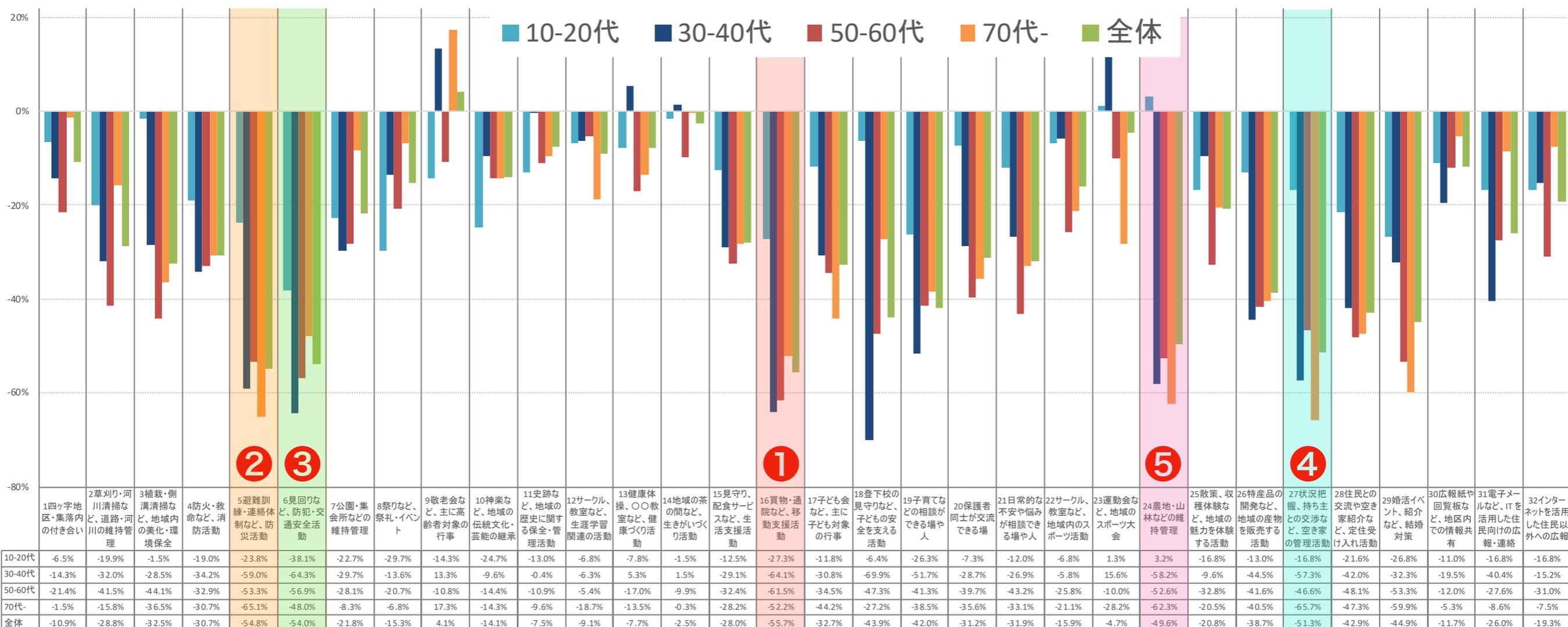
関川村四ヶ字地区 (2020)



取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村四ヶ字地区（2020）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



1 買物・通院など、
移動支援活動

2 避難訓練・連絡体制など
防災活動

3 見回りなど
防犯・交通安全活動

4 状況把握、持ち主との交渉など
空家の管理活動

5 農地・山林などの
維持管理

若年 > 壮年

若年 > 壮年

若年 < 壮年

若年 < 壮年

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村四ヶ字地区（2020）

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（上位）

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	16買物・通院など、移動支援活動 -55.7%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -38.1%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -69.9%	16買物・通院など、移動支援活動 -61.5%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -65.7%
2	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -54.8%	8祭りなど、祭礼・イベント -29.7%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -64.3%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -56.9%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -65.1%
3	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -54.0%	16買物・通院など、移動支援活動 -27.3%	16買物・通院など、移動支援活動 -64.1%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -53.3%	24農地・山林などの維持管理 -62.3%
4	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -51.3%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -26.8%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -59.0%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -53.3%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -59.9%
5	24農地・山林などの維持管理 -49.6%	19子育てなどの相談ができる場や人 -26.3%	24農地・山林などの維持管理 -58.2%	24農地・山林などの維持管理 -52.6%	16買物・通院など、移動支援活動 -52.2%
6	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -44.9%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -24.7%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -57.3%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -48.1%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -48.0%
7	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -43.9%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -23.8%	19子育てなどの相談ができる場や人 -51.7%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -47.3%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -47.3%
8	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -42.9%	7公園・集会所などの維持管理 -22.7%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -44.5%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -46.6%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -44.2%
9	19子育てなどの相談ができる場や人 -42.0%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -21.6%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -42.0%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -44.1%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -40.5%
10	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -38.7%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -19.9%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -40.4%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -43.2%	19子育てなどの相談ができる場や人 -38.5%
11	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -32.7%	4防火・救命など、消防活動 -19.0%	4防火・救命など、消防活動 -34.2%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -41.6%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -36.5%
12	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -32.5%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -16.8%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -32.3%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -41.5%	20保護者同士が交流できる場 -35.6%
13	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -31.9%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -16.8%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -32.0%	19子育てなどの相談ができる場や人 -41.3%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -33.1%
14	20保護者同士が交流できる場 -31.2%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -16.8%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -30.8%	20保護者同士が交流できる場 -39.7%	4防火・救命など、消防活動 -30.7%
15	4防火・救命など、消防活動 -30.7%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -16.8%	7公園・集会所などの維持管理 -29.7%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -34.5%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -28.2%
16	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -28.8%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -14.3%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -29.1%	4防火・救命など、消防活動 -32.9%	23運動会など、地域のスポーツ大会 -28.2%

各年代が重視する
テーマの特徴

祭礼・イベント／結婚
／子育て相談

子どもの安全
子育て相談

結婚／定住受入／
空家管理

結婚
定住受入

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング (下位)

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
17	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -28.0%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -13.0%	20保護者同士が交流できる場 -28.7%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -32.8%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -27.2%
18	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -26.0%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -13.0%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -28.5%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -32.4%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -21.1%
19	7公園・集会所などの維持管理 -21.8%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -12.5%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -26.9%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -31.0%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -20.5%
20	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -20.8%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -12.0%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -19.5%	7公園・集会所などの維持管理 -28.1%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -18.7%
21	32インターネットを活用した住民以外への広報 -19.3%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -11.8%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -15.2%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -27.6%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -15.8%
22	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -15.9%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -11.0%	1四ヶ字地区・集落内の付き合い -14.3%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -25.8%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -14.3%
23	8祭りなど、祭礼・イベント -15.3%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -7.8%	8祭りなど、祭礼・イベント -13.6%	1四ヶ字地区・集落内の付き合い -21.4%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -13.5%
24	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -14.1%	20保護者同士が交流できる場 -7.3%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -9.6%	8祭りなど、祭礼・イベント -20.7%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -9.6%
25	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -11.7%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -6.8%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -9.6%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -17.0%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -8.6%
26	1四ヶ字地区・集落内の付き合い -10.9%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -6.8%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -6.3%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -14.4%	7公園・集会所などの維持管理 -8.3%
27	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -9.1%	1四ヶ字地区・集落内の付き合い -6.5%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -5.8%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -12.0%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -7.5%
28	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -7.7%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -6.4%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -0.4%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -10.9%	8祭りなど、祭礼・イベント -6.8%
29	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -7.5%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -1.5%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 1.5%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -10.8%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -5.3%
30	23運動会など、地域のスポーツ大会 -4.7%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -1.5%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 5.3%	23運動会など、地域のスポーツ大会 -10.0%	1四ヶ字地区・集落内の付き合い -1.5%
31	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -2.5%	23運動会など、地域のスポーツ大会 1.3%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 13.3%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -9.9%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -0.3%
32	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 4.1%	24農地・山林などの維持管理 3.2%	23運動会など、地域のスポーツ大会 15.6%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -5.4%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 17.3%

行事・イベント < 地域課題の解決 という意識の現れ?!

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

①買物・通院など、移動支援活動

60代以下はこの必要性を強く感じており、特に50～60代は優先度が高い。

→送迎される側よりも、送迎している側が切実に求めているのではないか!?

②避難訓練・連絡体制など、防災活動

30代以上がこの必要性を強く感じている。

③見回りなど、防犯・交通安全活動

30～60代（親世代）が、この必要性を強く感じている。

④状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

30～40代および70代以上がこの必要性を感じている。特に70代以上は、優先度が最も高いと考えている。

⑤農地・山林などの維持管理

30代以上は、この必要性を強く感じている。

☑ **農業従事者の75.9%が60代以上。**

将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑ **80代になると自分で車を運転する人の割合が減少。**

- ▶ 日常生活での移動が困難になる人の数は、今後、確実に増加していく。

☑ **買物・通院などの移動支援は、今後の重要なテーマだという認識されている。**

- ▶ 60代以下がこの必要性を強く感じている。(現在、高齢者を送迎している側が切実に求めている)
- ▶ 大半が車の運転ができるため、「今は困っていない」状況。ただし、車の運転ができなくなると、日々の暮らしに困る人が急増することは確実。

地域の人口構成を勘案すると、移動支援はすぐに着手すべき課題

☑ **全体の半数以上がインターネットを利用**

- ▶ 50代以下は8割以上(40代以下は9割)がインターネットを利用しており、大半がスマホ・携帯での利用。

50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的?!

☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ 現状は40代～70代が頑張っているので地域活動が回っている状態。
- ▶ 30代以下は「関心なし＋不参加」の割合が高い。(その年代の3～4割)
- ▶ 「関心あり＋不参加」の理由の第1位は「余裕が無い」。こう回答した50代以下の8割以上がこれを理由にあげている。
- ▶ 「関心なし＋付き合いで参加」の理由では、第2位に「頼まれた」が来ている。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

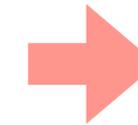
☑20～50代で土曜日が毎週休日なのは2～4割、日曜日が毎週休日なのは5～6割という状況。

- ▶ この世代は、必ずしも土日が休日ではない。

この世代の参加を求めらるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

☑ 役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っている。

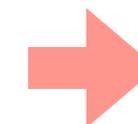
- ▶ 60～70代の男性は「必要」と考えている割合が地区平均以上。
- ▶ 次の担い手世代である40～50代も「必要」という割合が高い。
- ▶ 40～50代は、7割以上が会議出席経験がある。



お互いにその気はある！声を反映させる場・機会の充足・工夫が必要。

☑ 近所づきあいについては、半数が「悩みなし」。しかし、30～40代は「忙しすぎる」という割合が全体平均よりも高い。

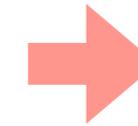
- ▶ 30～40代の会議出席・役員経験は他の世代とほぼ同じ割合。
- ▶ 30～40代は、70代に比べ2/3以下の人数しかない。



人は減っているのに、役割・仕事は変わっていなければ、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

☑地域全体の4割以上が、移住・定住者の受け入れが必要と考えている。

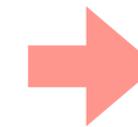
- ▶ 20代以下及び40代男性は「積極的に受け入れるべき」という傾向が強い。ただ、それ以外の世代は「必要性は感じつつも、迷いもある」という傾向。



若い世代は積極的な定住受け入れを求めている！

☑他地域との交流の必要性については、地域全体では半数近くが「わからない」と回答。

- ▶ 年代・性別ごとに、かなり意見が分かれている。
- ▶ 10代男性・40代男性・70代男性は、交流の必要性を感じている。



交流事業を行う場合は、機運醸成が必要。

☑️ **地区全体では半数以上が「住み続けたい」と思っているが、40代以下はその割合が地区平均よりも低い。**

- ▶ 30代男性は「思わない」という回答が1/3以上。10代女性・30代女性も1/4以上が「思わない」と回答。

☑️ **全体の4割が「自分の子どもにも住み続けてほしい」と回答。ただし、30代以下は「思わない」の割合が高い！**

- ▶ ただし、40代女性・20代男性は3/4以上が「わからない」と回答。

☑️ **全体の半数が「地域に愛着がある」と回答しているが、30代は愛着度はかなり低い。**

- ▶ 10代と40代（親子世代）は地区平均と同割合。
- ▶ 「誇りに思う地域資源」については、「誇りに思うものは無い」という回答割合が全体で2番目に高い。（特に30代は顕著）一方、10代は「地域に暮らす人々」の割合が極めて高い。

次世代が地域への誇り・愛着を持ち、将来への希望を見いだせるような地域づくりが不可欠。

☑暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①商店が少なく、日常の買い物が不便
- ②農地や山林の維持管理
- ③屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪
- ④病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる
- ⑤健康面への不安



☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①買物・通院など、移動支援活動
- ②避難訓練・連絡体制など、防災活動
- ③見回りなど、防犯・交通安全活動
- ④状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ⑤農地・山林などの維持管理



困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。

ただし、世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。(特に若年層)若年層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。